

平成6年度～



最近における火災の主な出火原因は、たばこ、こんろ、放火、たき火、火あそびなどとなっている。このうち、こんろ、たき火及び火あそびによる火災は減少傾向にあるのに対し、たばこによる火災は、平成元年を底にして再び増加に転じている。また、放火による火災は、総出火件数が減少傾向にある中において、増加傾向を示し、この十年間、放火の疑いを加えると出火原因のトップとなっているが、平成五年においては、放火火災だけでも、たばこ、こんろによる火災を抜いて出火原因の第一位になったところである。

### 放火火災対策

予防課長 小林 弘明  
(消防の動き 27号より)

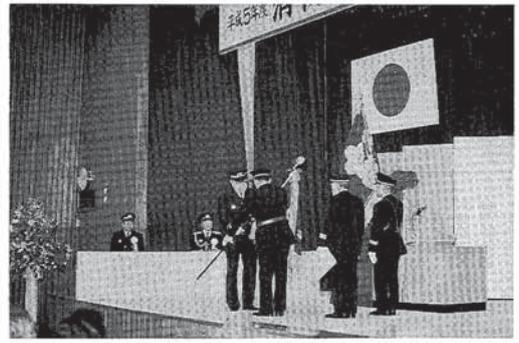
今年に入ってもその勢いは衰えるどころか、一月に一家五人が焼死した東京都板橋区の連続放火事件は、改めて厳しい放火火災の実態を国民に認識させるもの

放火火災は、自殺や心中の手段となることや、人間関係からんだトラブルによるもの、そのほか不満の発散として惹き起こされるものなど、その原因は様々であり、通常の社会生活や経済活動に伴ってとられるような一般的な火災予防とは異なった対応も必要となるので、放火火災対策は、今

や、住宅防火対策やホテル・デパートなどの特定防火対象物の防火安全対策と並ぶ重要な課題となっているものと考えられる。消防庁においても、平成元年以降、春・秋の全国火災予防運動の重点目標の一つに地域における防火安全体制の充実を掲げ、地域ぐるみで放火火災を防止するよう指導を行ってこ

が必要であるが、何と云っても、地域の住民が、自らの地域は自ら守るといふ気概をもって、放火火災に、いざという時に環堵づくりであると思う。景気が好転すれば放火火災が減少するとは限らないのである。

放火火災は、自殺や心中の手段となることや、人間関係からんだトラブルによるもの、そのほか不満の発散として惹き起こされるものなど、その原因は様々であり、通常の社会生活や経済活動に伴ってとられるような一般的な火災予防とは異なった対応も必要となるので、放火火災対策は、今

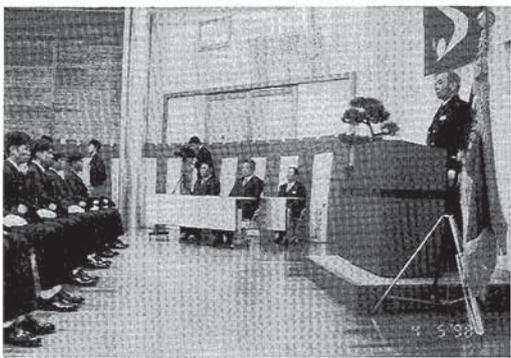


- (オモテのうき)
- 大滝村消防団 副団長 富田 博文
  - 男鹿地区消防一部事務組合 消防司令長尾張勇一郎
  - 秋田市消防本部 消防司令長加賀谷 進
  - 秋田市消防団 分団長 若狭 良一
  - 秋田市消防団 分団長 加賀谷孝一
  - 秋田市消防団 分団長 渡部 謙一
  - 河辺町消防団 副分団長佐々木鉄太郎
  - 雄和町消防団 副団長 安藤 一郎
  - 本荘市消防団 団長 添田 重一
  - 本荘市消防団 分団長 渡会 昭一
  - 本荘市消防団 副団長 須田 正

- 岩城町消防団 副分団長 原 敬
- 大内町消防団 部長 石井 栄
  - 大内町消防団 副分団長 佐々木 兼
  - 島田町消防団 副団長 菊地 誠市
  - 大曲市消防団 分団長 佐々木鉄夫
  - 中仙町消防団 団長 藤原 稔夫
  - 六郷町消防団 副分団長 右谷七重郎
  - 神岡町消防団 分団長 小林久治郎
  - 角館町消防団 分団長 藤原 正可
  - 大曲仙北広域市町村圏組合 消防本部 竹内良四郎
  - 西木村消防団 副団長 小松 清記
  - 横手市消防団 副団長 橋 末松
  - 皆瀬村消防団 副団長 菅原 正一
  - 外 153名
- 分団長 米沢谷孝市
- 増田町消防団 副分団長 飛沢 健助
  - 平尾町消防団 副団長 小松田孝士
  - 雄物川町消防団 部長 佐々木忠一
  - 大森町消防団 分団長 伊藤 吉次
  - 十文字町消防団 副分団長 吉田 和男
  - 山内村消防団 分団長 高橋 重一
  - 大雄村消防団 副分団長 寿松木俊一
  - 湯沢市消防団 副分団長 姉崎久太郎
  - 稲川町消防団 分団長 千葉 友二
  - 雄勝町消防団 副団長 中川徳二郎
  - 羽後町消防団 分団長 橋 末松
  - 皆瀬村消防団 副団長 菅原 正一
  - 外 153名
- 分団長 佐藤常太郎
- 湯沢雄勝広域市町村圏組合 消防本部 藤原 進
  - 湯沢市消防団 副分団長 高橋 定一
  - 大館周辺広域市町村圏組合 消防本部 正巳
  - 横手平鹿広域市町村圏組合 消防本部 幸雄
  - 大館周辺広域市町村圏組合 消防本部 幸雄
  - 消防司令 斎藤 孝三
  - 鷹巣阿仁広域市町村圏組合 消防本部 虎雄
  - 消防司令補 島山 虎雄
  - 本荘市消防団 副団長 菅原 正一
  - 外 153名

### 平成六年度 消防職員初任科教育生入校式

四月五日 秋田県消防学校



平成六年度消防学校における消防職員初任科教育生(第四十八期)の入校式が四月五日午前十一時から各消防本部八十二名の入校生を迎え、来賓の臨席のもとに挙行された。

この初任科教育は、各消防本部の新規採用職員に対して、消防職員としての必要な知識、技能の修得と強い精神力・体力を養成するために行われるものである。

入校式は、入校生発表のあと小山田昭一学校長から六カ月間の学習訓練は、きびしい場合もあるが、これに耐え抜き、頼りがいのある消防員となるよう挨拶があった後、熊内生活環境部長等から励ましの言葉がおくられた。続いて、入校

### 秋田県消防協会長表彰



◎優良消防機関(5団)  
八森町消防団 山内村消防団  
八郎湯町消防団 東成瀬村消防団

### 2月の火災発生件数(全県)

月	建物	その他	死者	り世	災害
2月	17	5	2	46	
計A(1月~2月)	40	7	3	73	
前年累計B(1月~2月)	49	6	6	57	
前年対比A-B	△9	1	△3	16	

▲一般のお客様  
1人室(洗面所、トイレ付) ¥ 3,300  
2人室(バス、トイレ付) ¥ 6,600

▲会員の方  
1人室(洗面所、トイレ付) ¥ 3,000  
2人室(バス、トイレ付) ¥ 6,000

**ホテルあきた**  
秋田市中通4丁目3の23  
(秋田消防会館内)電話32局4111

総合防災設備設計、施工

総代理店  
消防設備士  
秋田県 消防機器 A級店  
入札資格

株式会社 **高義商会**

〒012-01 本社 秋田県雄川町 電話 (0183) (42) 2125-2126  
〒012 湯沢市田町 電話 (0183) (73) 2588-2932  
〒019-05 十文字町本町 電話 (0182) (42) 0032  
高義グループ店 秋田市、大館市、天王町、鷹岡市

ゆたかな未来を 築くために

消防団員、消防職員、消防補助員のための **消防互助年金** に加入を!

(20歳加入、60歳年金開始の場合)

120万円 (20年間掛金累計 月額5,000円)  
約1,368万円 (10年間受取累計)  
約3,207万円 (20年間受取累計)

財団法人 **日本消防協会**

婦人消防隊員のための

**婦人消防隊員福祉共済**

・防災活動中やそれ以外の事故または病気に、死亡、障害状態或いは入院した場合、弔慰金、見舞金を支給

# 消防秋田

初代会長 松野盛吉  
定価 1部 5円  
(購読料は年会費を含む)  
秋田市中通4丁目3-23 全  
秋田 消防 協会  
発行人 秋田 田 康二部  
会長 栗 田 康二部  
電話 0188-32-3791  
FAX 0188-34-2706  
郵便番号 010  
秋田市山王町5番-29  
株式会社 松原印刷社  
電話 0188-62-8760

## 平成六年 春の叙勲発表 晴れの栄誉に輝く 消防功労者

平成六年の春の叙勲は、恒例により、みどりの日の四月二十九日発表された。この度本県消防関係者で栄誉に輝いた方は、勲五等瑞宝章四名、勲六等単光旭日章四名、勲六等瑞宝章七名の計十六名である。この伝達式は、五月十二日(土)十一時東京都港区虎の門、ニッソーホールにおいて行われ、消防庁長官から各受章者に伝達された。

### 勲五等瑞宝章

- 元八電町消防団 団長 関 勤郎 70
- 元合川町消防団 副団長 高橋 與一郎 66
- 元大曲北広域市町村圏組合消防本部 消防司令 中村 新之助 67
- 元羽後消防団 団長 元権勝町消防団 副団長 渡部 勝義 70

### 勲六等単光旭日章

- 元比内町消防団 団長 渡邊 昭二郎 67
- 元阿仁町消防団 副団長 阿部 勝 67
- 元阿仁町消防団 副団長 庄司 武男 66
- 元大曲北広域市町村圏組合消防本部 消防司令 元大曲市消防団 分団長 阿部 勉 69
- 元大曲市消防団 分団長 元西木村消防団 分団長 佐々木 勇 68
- 元西木村消防団 分団長 佐藤 鉄雄 66
- 元二ツ井町消防団 分団長 佐藤 春己 67
- 元井川町消防団 分団長 菅生 留治 67
- 元仙田町消防団 副団長 田口 泰二 67
- 元鹿角市消防団 分団長 安田 昭一 66

### 勲六等瑞宝章

- 元大館市消防団 分団長 元大館市消防団 分団長 阿部 勉 69
- 元大館市消防団 分団長 元大館市消防団 分団長 元大館市消防団 分団長 元大館市消防団 分団長

## 秋田県消防長会主催 消防職員意見発表会 最優秀賞「傷」の内容紹介

恒例の秋田県消防長会主催の消防職員意見発表会が、本年も行われ、九人の発表者の発表があり、審査の結果、最優秀賞を獲得したのは大曲北広域市町村圏組合消防本部の戸島浩樹消防士(二十五)である。



第17回消防職員意見発表会秋田県大会



大曲北広域市町村圏組合消防本部 消防士 戸島浩樹

### 傷

子供がナイフで切った傷、主婦が包丁で切った傷、これらは薬をつけさえすれば何れは治る傷ですが、同じ傷でも一生かかっても治らない傷があることを、私は一人の老人から学びました。

「自分の子供を殺してしまふ」と、私にこのような体験を語ってくれました。それは、数十年前自宅から出火、その火は隣の家にも燃え移り、更には幼い我が子まで焼死させてしまった。焼け落ちた柱の下に見

平成六年度全国統一防火標語  
“安心の暮らしの中心  
火の用心”

### 救急車が来るまでに

(消防の動き 278号より)

現在、救急車が現場に到着する平均時間は五・七分、酸素供給が停止して三分、四分すると脳の機能障害が生ずる。急病や交通事故など各種の救急隊が発見した場合、救急隊が現場に到着する以前に、現場に居合わせた住民により適切な応急手当が速やかに実施されれば、傷病者の救命や症状の軽減に大きな期待がもてる。いかれば、住民による適切な処置と迅速な搬送、医療機関での治療の三者が一体となれば、医療機関まで一貫した処置が可能となり、傷病者の生命のみならず、機能的予後に対して計り知れない恩恵をもたらすことができる。

### 3月の火災発生件数(全県)

区分	建物	その他	死	傷	災害
3月	22	9	3	56	
計A(1月~3月)	62	16	6	129	
前年同月計B	86	30	11	85	
前年同月対比	△24	△14	△5	△44	

けは、人間の内にも、これほど大きな傷を残すものか、改めて火災の恐ろしさを認識させられました。

問題は、できること、と「実際にやること」とは違ふ。実際は、後者は自己決断、決断は個人の行動範囲に過ぎない。

## 株式会社タカギ

秋田県横手市寿町2番9号  
TEL (0182) (32)3880

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- キンパイホース
- トハツポンプ
- シンバラポンプ
- 各種消防機械器具
- 各種消火器
- 消防設備保守点検

### 消防設備はソフト (保守点検)が決めて!

消防設備の点検設置のご相談は  
**猿田興業株式会社**

秋田市山王六丁目10-9 電話 63-155(代)

火災報知設備・消防ポンプ・消火器

森田ポンプ ラビットポンプ  
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式  
各種消火器 ガス水道工事一般  
簡易自動火装置ユーホ ¥25,000

## 株式会社 協立

能代市栄町12の3 〒016  
TEL (0185) (52)6361代表

別表1

平成5年度支部別互助年金加入一覧表

平成6年4月1日加入日現在

支 部 名	職 員 数 (E)	4年度末 加入者数 (A)	5年度加 入目標数 (B)	本 年 度		5年度末累計 加入者数 (D)=(A)+(C)	加 入 率 (D)/(E)
				加入者数 (C)	目標達成率 (C)/(B)		
鹿 角	1,154	138	22	9	40.9	147	12.7
大館北秋田	2,570	301	54	19	35.1	320	12.4
能代山本	2,033	376	44	55	125.0	431	21.2
秋 田 市	1,813	47	73	2	2.7	49	2.7
男 鹿 南 秋	2,220	194	44	17	38.6	211	9.5
河 辺	729	161	11	9	81.8	170	23.3
本 莊 由 利	2,922	214	95	6	6.3	220	7.5
大 曲 仙 北	3,324	363	76	11	14.4	374	11.2
横 手 平 鹿	3,417	528	76	55	72.3	582	17.0
湯 沢 雄 勝	3,153	169	105	8	7.6	177	5.6
消 防 協 会		11				11	
合 計	23,335	2,502	600	191	31.8	2,693	11.5

消防互助年金の加入推進については、関係者皆さまのご理解と協力により、平成5年度は、新たに一九一名の方々が加入して頂きました。

従って本年度末で、二、六九三名の加入実績を収めており、消防職員(二、三、三三三三)の一、一五％が加入しています。

本年度の目標、新規加入者六〇〇名としまして、加入促進しました二〇〇名を割る一九一名の実績となり、三二・八％の加入率に

とどまりました。十支部のうち、加入目標を達成したのが、能代山本支部(二五％)のみで、二位実績を収めたのが河辺支部(八一・八％)、横手平鹿支部(七二・三％)です。(別表一参照)

各消防団、消防本部の加入状況は別表のとおりであり、消防互助年金は、貯蓄性も備えた給付額の高い年金活設計のために、皆さんで年金の輪を広げたいもので

本年も新規加入については、特段のご協力をお願いします。

本年度において、優秀な成績を収め、代議員会で感謝状を授けられる消防機関は次のとおりです。

八竜町消防団  
大淵村消防団  
鹿角市消防本部  
能代地区消防一部事務組合消防本部

平成五年度  
消防互助年金の加入者  
六九三名に終る

平成六年度も大いに新規加入を促進しよう

消 防 互 助 年 金 加 入 状 況 表

平成6年4月1日加入日現在

消防団名	団員数	加入目標数	加入者数	加入率
1鹿角市	878	88	110	12.5
2小坂町	220	22	11	5.0
鹿角支部	1,098	—	121	—
3大館市	849	85	162	19.0
4鷹巣町	310	31	48	15.4
5比内町	257	26	46	17.8
6森吉町	226	23	10	4.4
7阿仁町	214	22	7	3.2
8田代町	182	19	18	9.8
9合川町	200	20	3	1.5
10小阿仁村	142	15	4	2.8
大館北秋田支部	2,380	—	298	—
11能代市	616	62	115	18.6
12琴丘町	125	13	26	20.8
13二ツ井町	286	29	37	12.9
14八森町	177	18	9	5.0
15山本町	196	20	61	31.1
16藤里町	127	13	24	18.8
17八竜町	138	14	56	40.5
18峰浜村	180	18	35	19.4
能代市山本郡支部	1,845	—	363	—
19秋田市	1,522	153	46	3.0
秋田市支部	1,522	—	46	—
20男鹿市	703	71	16	2.2
21五城目町	264	27	54	20.4
22昭和町	188	19	2	1.0
23八郎潟町	130	13	3	2.3
24飯田川町	90	9	1	1.1
25天王町	253	26	44	17.3
26若美町	176	18	22	12.5
27井川町	175	18	3	1.7
28大潟村	52	6	39	75.0
男鹿南秋支部	2,031	—	184	—
29河辺町	387	39	80	20.6
30雄和町	307	31	56	18.2
河辺支部	694	—	136	—
31本荘市	494	50	57	11.5
32仁賀保地区	799	78	25	3.1
33矢島町	196	20	3	1.5
34岩城町	171	18	26	15.2
35由利町	185	19	2	1.0
36大内町	203	21	41	20.1
37東由利町	175	18	4	2.2
38西目町	123	13	35	28.4
39島海町	361	37	23	6.3
本荘市由利郡支部	2,707	—	216	—
40大曲市	490	49	11	2.2
41神岡町	102	11	14	13.7
42西仙北町	248	25	7	2.8
43角館町	304	31	18	5.9
44中郷町	165	17	9	5.4
45中仙町	313	32	3	0.9
46田沢湖町	298	30	44	14.7
47協和町	267	27	10	3.7
48太田町	107	11	3	2.8
49仙北町	121	13	3	2.4
50南外村	171	18	13	7.6
51西木村	148	15	51	34.4
52千畑町	210	21	8	3.8
53仙南村	145	15	10	6.8
大曲市仙北郡支部	3,089	—	204	—
54横手市	619	62	92	14.8
55増田町	332	34	51	15.3
56平鹿町	500	50	61	12.2
57雄物川町	540	54	82	15.1
58大森町	285	29	42	14.7
59十文字町	532	54	92	17.2
60山内村	207	21	32	15.4
61大雄村	243	25	97	39.9
横手市平鹿郡支部	3,258	—	549	—
62湯沢市	846	85	44	5.2
63稲川町	462	47	46	9.9
64雄勝町	550	55	12	2.1
65羽後町	759	76	23	3.0
66東成瀬村	213	22	15	7.0
67皆瀬村	202	21	24	11.8
湯沢市雄勝郡支部	3,032	—	164	—
小 計	21,656	2,192	2,281	—

消防本部名	職員数	加入目標数	加入者数	加入率
鹿角市	56	6	26	46.4
鹿角支部	56	—	26	—
大館周辺広域	103	11	3	2.9
鷹巣阿仁広域	87	9	19	21.8
大館北秋田支部	190	—	22	—
能代地区	102	11	32	31.3
二ツ井藤里地区	44	5	4	9.0
山本郡南部地区	42	5	32	76.1
能代市山本郡支部	188	—	68	—
男鹿地区	111	12	18	16.2
湖東地区	51	6	1	1.9
五城目町	27	3	8	29.6
男鹿南秋支部	189	—	27	—
秋田市	291	30	3	1.0
秋田市支部	291	—	3	—
河辺雄和地区	35	4	34	97.1
河辺支部	35	—	34	—
本荘地区	112	12	4	3.5
仁賀保地区	58	6	0	0
矢島地区	45	5	0	0
本荘市由利郡支部	215	—	4	—
大曲市仙北郡支部	235	24	170	72.3
大曲市仙北郡支部	235	—	170	—
横手市平鹿郡支部	159	16	34	21.3
横手市平鹿郡支部	159	—	34	—
湯沢雄勝広域	121	13	13	10.7
湯沢市雄勝郡支部	121	—	13	—
小 計	1,679	178	401	—
秋田県消防協会	—	—	11	—
合 計	23,335	2,370	2,693	11.5

消防半天・帯・団旗  
優勝旗・ゼッケン  
手拭・タオル・のれん  
旗幕類名入染物専門

**寺田染工場**

横手市清川町 ☎32-0416

トーハツ消防ポンプ  
森田自動車ポンプ  
消防被服全般  
秋田県代理店

総合防災設備センター

**株式会社 高義商会**

(営業種目)  
トーハツ自動車ポンプ  
森田自動車ポンプ  
ジェットホース  
消防被服全般  
消火器具各種

〒012-01 本社 秋田県雄川町 Ⅱ(0183)(42)2125  
〒012 湯沢市田町 Ⅱ(0183)(73)2588  
〒019-05 十文字町本町 Ⅱ(0182)(42)0032



# 消防秋田

初代会長 松野盛吉  
 定価 1部 5円  
 (購読料は年会費に含む)  
 秋田市中通4丁目3-23  
 秋田県消防協会  
 会長 栗田 廣二部  
 電話 0188-32-3791  
 FAX 0188-34-2706  
 郵便番号 010  
 秋田市山王町目5-29  
 株式会社 松原印刷社  
 電話 0188-62-8760

## 平成六年度 秋田県消防協会 代議員会開催

### 新事業計画及び予算決定



平成六年度の秋田県消防協会代議員会が五月二十三日午後一時三十分から秋田市の秋田キャッスルホテルにおいて、栗田および代議員など八十余名が出席して開催された。

開会後、急ぎされた鈴木首能代市消防団・下村勇山内村消防団長ほか二四名の消防団員の選任に際し、二部会長が挨拶し、次いで秋田県副知事池田二郎氏

並びに秋田県議会福祉環境委員会長谷部誠氏からお祝いのことばがあり、恒例により栗田会長が議長となり、議事録署名員に二ツ井消防団長高橋武次氏並びに神岡消防団長藤井新蔵氏を選出した後、各議案を審議した。

その結果、次の決算関係の承認議案及び予算関係議案は、何れも原案どおり可決承認された。

○決算関係承認議案  
 一、平成五年度事業の概要報告について  
 二、平成五年度一般会計歳入歳出決算承認について  
 三、平成五年度消防会館特別会計収支決算承認について  
 四、平成五年度特別会計歳入歳出決算承認について  
 五、平成五年度特別会計歳入歳出決算承認について  
 六、監事の監査報告は、小坂町消防団長山崎文夫が行った。

### 平成6年度消防協会事業計画

事業項目	実 施 内 容	実施時期
1. 会 議	次の会議を開催し、会の進展をはかる。 (1) 正副会長会議 (2) 理事会 (3) 罹災互助会審議委員会 (4) 代議員会 (5) 支部事務担当者会議 (6) 東北地区事務局長会議	時間 4月4日 随年 平成6年5月6日 " " " " 11月
2. 表 彰	1. 次により団体及び個人を表彰する。 (1) 精勤、勤続、功労、顕功の各表彰 (2) 現場功労表彰、協力者表彰 (3) 優良消防機関 2. 日本消防協会長表彰の申請及び伝達 3. 無火災消防団の表彰	平成7年1月 間 " " " " 3月 " " " " "
3. 弔 慰 見 舞	1. 規定による次の見舞金を贈呈する。 (1) 弔慰見舞 (甲恵救済金) (2) 傷い見舞 ( " ) (3) 罹災見舞 (罹災互助会) 2. 殉職消防職、団員の慰霊祭を執行する。	年 間 " " " " " 平成6年9月
4. 無火災県民運動の推進	1. 新聞「消防秋田」毎月1回発行する。(3,400部) 2. 次により一般県民の防火思想の普及向上をはかる。 (1) 火災予防運動の推進 (2) 防火ポスターの配布 (3) 防火フィルムの貸出 (4) 防火作品(ポスター)の募集 (5) 防火舟論大会の開催助成 (6) 防火座談会の開催助成 (7) 地域防火協議会の開催助成 (8) 火災予防団体の指導育成	毎 年 月 間 年 間
5. 教 養 研 修	次の研修を実施し、知識技術の向上をはかる。 (1) 消防団員の教養研修 (2) 消防団員指導員研修 (日本消防協会委託)	年 間 平成6年12月
6. 秋田県消防大会	消防の士気の高揚と消防施策の研修及び消防体制の強化をはかるため、湯沢市において第47回秋田県消防大会を開催する。	平成6年7月
7. 秋田県消防操法大会	消防団員・婦人消防隊員の士気の高揚と消防規律、技術の練熟向上をはかるため、各支部代表による秋田県消防操法大会を開催する。	平成6年9月
8. 支部総合防災訓練	防災体制の強化をはかるため、防災関係機関が一体となり、地域住民の協力による防災訓練を実施した支部に助成する。	年 間
9. 防火管理者講習会	県消防長会の実施する防火管理者講習会に助成する。	年 間
10. 福利厚生事業協力	日本消防協会の福利厚生事業に協力する。 (1) 消防団員福祉共済制度の推進 (2) 全日本消防人火災共済会への加入促進 (3) 消防互助年金制度への加入を消防団の福利厚生の増進のため促進する。 (4) 婦人消防隊員福祉共済制度の推進	年 間

○予算関係議案  
 一、平成六年度事業計画(案)について  
 二、平成六年度支部分担金の徴収額(案)について  
 三、平成六年度一般会計歳入歳出決算承認について  
 四、平成六年度消防会館特別会計収支目録見舞(案)について  
 五、平成六年度特別会計歳入歳出決算承認について

大内町消防団長大友重夫氏を満場一致で選出した(任期は前任者の残任期間)。

議案審議終了時点において、理事松田博道氏(秋田市消防本部消防長)から、「去る四月二十八日栗田二部会長が、永年に亘る地方自治に盡瘁された功績により、藍綬褒章を受章されたので、代議員一同で祝意を表し、記念品を贈呈したい」との提案があり、満場拍手をもってこれに賛成した。

最後に消防互助年金の加入推進に顕著な成績をあげた消防団、消防本部に対し、栗田会長から感謝状が贈られ、平成六年度の代議員会を終了した。

平成六年度全国統一防火標語  
 “安心の暮らしの中心  
 火の用心”

入推進に顕著な成績をあげた消防団、消防本部に対し、栗田会長から感謝状が贈られ、平成六年度の代議員会を終了した。

感謝状贈呈消防団、及び消防本部は、次の五団体である。  
 山本町消防団  
 八電町消防団  
 大滝村消防団  
 鹿角市消防本部  
 能代地区消防 部事務組合 消防本部



### 平成5年度各会計収支決算額一覧 (単位:円)

会 計 名	歳入金額	歳出金額	差引金額	摘 要
一 般 会 計	31,918,407	31,554,621	363,786	次年度へ繰
消防会館特別会計	38,186,588	37,128,704	1,057,884	"
特別会計罹災互助会	12,910,248	12,247,531	662,717	共済積立金へ繰
特別会計罹災互助会共済積立金	116,683,057	5,800,000	110,883,057	繰

### 平成6年度各会計予算額一覧 (単位:円)

会 計 名	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
一 般 会 計	19,717,786	29,346,606	△ 9,628,820	
消防会館特別会計	44,157,884	38,677,888	5,479,996	
特別会計罹災互助会	15,198,600	11,117,500	4,081,100	

## 株式会社タカギ

秋田県横手市寿町2番9号  
 TEL (0182) (32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ	キンバイホース
トールポンプ	ンバラポンプ
各種消防機械器具	各種消火器
消防設備保守点検	

消防施設工事 秋田県知事許可(般-50)4370号  
 指名競争入札参加資格 秋田県A級(第8号)  
 秋田県消防設備保守協会会員

消防設備はソフト  
 (保守点検)が決めて!

消防設備の点検設置のご相談は  
**猿田興業株式会社**  
 秋田市山王六丁目10-9 電話63-1551(代)  
 火災報知設備・消防ポンプ・消火器

森田 ポンプ ラビットポンプ  
 桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式  
 各種消火器 ガス水道工事一般  
 簡易自動消火装置ユーホ ¥25,000

**株式会社 協立**  
 能代市栄町12の3 〒016  
 TEL (0185)(52)6361代表





# 消防業務への更なる献身を誓い 第47回秋田県消防大会

## 湯沢市で盛大に開催

秋田県消防協会主催、秋田県・湯沢市・雄勝郡各町村及び日本消防協会後援の第四十七回秋田県消防大会が七月七日湯沢文化会館において、秋田県副知事池田竹二郎氏、湯沢市長二坂信邦氏など多くの来賓の臨席のもとに県内消防関係者約六〇〇名が参加し、盛大に開催された。

大会は、参加者全員が起立誓詞ののち、奥山副会長が第四十七回秋田県消防大会の開会を宣言し、殉職消防職員の御霊に対し黙禱を捧げ、国歌斉唱の後、公務出張中の柴田会長に代って副会長が開会の挨拶を行った。

次に、開催地である湯沢市消防団長奥山利八氏、湯沢市長二坂信邦氏から歓迎と激励をこめた挨拶が行われた。続いて、大会運営の議長団は

稲川町消防団 近野 又治団長  
羽後町消防団 仙道 久司団長  
皆瀬村消防団 小南武二郎団長

の三氏を選出した後、第四十六回大会の決議事項処理報告が事務局からなされ、満場の拍手をもって承認された。

続いて各支部から提案された議題について、各支部代表者による提案主旨の説明が行われ、各議題は何れも満場一致を以て採択することになった。また、来年の第四十八回大会の開催地を議題とし、前日の役員会において内定した男鹿南秋支部において開催することと満場一致で決定され、男鹿南秋支部長の若美町清

吉野盛吉 松野盛吉  
初代会長 5円(含む)23  
定価 1部 3巻 1冊  
(購読料) 1部 4巻 1冊  
秋田県消防協会 0188-32-3791  
秋田県 0188-34-2706  
秋田県 0188-32-3791  
秋田県 FAX 0188-34-2706  
秋田県 0188-32-3791  
秋田県 FAX 0188-34-2706  
秋田県 0188-32-3791  
秋田県 FAX 0188-34-2706

防団長中田善一氏から歓迎の挨拶がなされた。

次に本大会の主旨を意義あらしむるため宣言案及び決議案が提案され、宣言案は雄勝町消防団長、菊地憲氏が、決議案は東成郡消防団長谷藤一氏がそれぞれ朗読し、何れも満場の拍手により採択決定をし、大会議題の審議は滞りなく終了した。

その後、来賓の祝辞を、秋田県副知事池田竹二郎氏、秋田県議を代表して東海林建氏からいただき、引き続き来賓の紹介、祝電の披露が行われた後、全員が秋田県消防の歌「われらあり」を斉唱し、秋田県議会議員高久正吉氏の発声により、声高らかに万歳三唱し、最後に長谷部副会長が大会終了の挨拶を行ない、一時間三十分及び大会の幕を閉じた。

その後湯沢市雄勝郡支部の御好意により、アトミック・ビレッジによる歌謡ショーが行われた。

## 前年度大会における 決議事項の処理報告

平成五年七月七日鹿角市において開催した第四十六回全県消防大会において、各支部から提案された決議事項は七件であり関係機関に要望を提出し、その趣旨を説明し、実現されるよう要請いたしました。その要請事項への回答要旨は次のとおりである。

1. 地域交流活動を図るための運営費の支給について (鹿角支部提案)  
消防団員の報酬及び活動手当の引き上げについては、毎年少額ではあるが改善が図られていて、今年度においても、要請して参りたい。また、団及び分団の運営費の助成については、市町村からの分担金等、健全財政を堅持するため、本会事業の見直しや改善を行い、対処して参りたい。
2. サラリーマン団員の増加に対する対策について (能代市山本支部提案)  
事業所等の消防団活動への協力業務及び、それに対する事業等への優遇措置については、日本消防協会を通じて団に要請している。
3. 防災まちづくり対策事業の拡大について (秋田市支部提案)  
消防団の消防ポンプ自動車を防災まちづくり事業で整備することが出来るよう、日本消防協会を通じて、日本消防協会を通じて、国に要請しております。

また、開会に先立ち湯沢市消防団の格差是正について、秋田県市長会及び秋田県消防協会に要請しているとある。

5. 応急手当の普及啓発活動の推進について (大曲市仙北支部提案)

6. 消防操法実施要領について



## 提案議題の要望主旨

1. 企業勤務者団員の火災時出動のしやすき環境づくりの推進について (鹿角支部提案)  
本市の産業構造を見るに、誘致企業をはじめとして、企業に就労する者が多く、社会情勢と経済構造の変化に伴い、消防団員の就業状況も大方企業勤務者であり、近年、企業も地域社会の一構成員である「企業市民」として、本業との関係にこだわることなく、自発的に活動し、地域に積極的に責任を持つという社会貢献活動が目指されております。

2. 秋田県の火災による罹災者に対する見舞金給付の増額について (大館北秋田支部提案)  
秋田県は、火災または暴風雨、豪雪、地震等の自然現象により、被害をうけた罹災者に対し、自立更生を助長することを目的とする見舞金の給付を行っているところであり、県が定めた見舞金給付要綱により、火災の類焼により、住家を全焼または半焼した世帯に対し、一律一万円の見舞金を支給されております。

3. 秋田県の火災による罹災者に対する見舞金給付の増額について (大館北秋田支部提案)  
秋田県は、火災または暴風雨、豪雪、地震等の自然現象により、被害をうけた罹災者に対し、自立更生を助長することを目的とする見舞金の給付を行っているところであり、県が定めた見舞金給付要綱により、火災の類焼により、住家を全焼または半焼した世帯に対し、一律一万円の見舞金を支給されております。

4. 秋田県の火災による罹災者に対する見舞金給付の増額について (大館北秋田支部提案)  
秋田県は、火災または暴風雨、豪雪、地震等の自然現象により、被害をうけた罹災者に対し、自立更生を助長することを目的とする見舞金の給付を行っているところであり、県が定めた見舞金給付要綱により、火災の類焼により、住家を全焼または半焼した世帯に対し、一律一万円の見舞金を支給されております。

7. 防火貯水水槽の造設について (湯沢市雄勝郡支部提案)  
消防防災施設についての、み通地区域と同じ補助率に引き上げるには困難と思われるので、国庫補助事業と併せて防災まちづくり事業の活用等により、施設整備を図ってまいりたい。

8. 消防操法実施要領について

### 株式会社タカギ

秋田県横手市寿町2番9号  
TEL (0182) (32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ  
トールポンプ  
各種消防機械器具  
消防設備保守  
各種ポンプ  
各種消火器  
各種消防器具  
各種消防設備保守

消防施設工事 秋田県知事許可(般-50)4370号  
指名競争入札参加資格 秋田県A級(第8号)  
秋田県消防設備保守協会会員

消防設備はソフト  
(保守点検)が決めて!

消防設備の点検設置のご相談は  
猿田興業株式会社  
秋田市山王六丁目10-9 電話63-1551(代)  
火災報知設備・消防ポンプ・消火器

森田ポンプ ラビットポンプ  
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式  
各種消火器 ガス水道工事一般  
簡易自動消火装置ユーホ ￥25,000

株式会社 協立

能代市栄町12の3 千016  
TEL (0185)(52)6361代表

(オモテのつづき)  
 火災による罹災者に対する見舞金の支給についても、全面的には秋田県と同程度は、全国的には秋田県と同程度の給付となっており、また、横並び意識とらわれない。本誌に給付の増額を秋田県に要望するものであります。

3. 消防団員の配偶者に対する報償について  
 (能代市山本支部提案) 消防団の活性化を推進するためにさまざまな施策を講じてきたにもかかわらず、消防団員の減少、高齢化、サライマン化等の問題が深刻化している状況の中で、その一層の促進を図るため、新たな視点からの幅広い取り組みが必要であると考えられます。

消防団員は義務的格の多様であるといえ、各団員に多大の犠牲を払って活動に参加しており、そのためには家庭の協力が不可欠であり、妻などの理解が是非とも必要であります。

これに対し、秋田県の一部の市町村では内助の功に報償制度を取り入れておられますが、全国的なものにするためにも法律化するよう要望するものであります。

4. 消防防災施設等整備事業に対する県費補助対象施設の拡充について  
 (本荘市山形支部提案) 経済社会の急激な進展に伴い災害発生危険性が著しく増大しており、消防に課せられた責務は益々重要になってきているところであります。各町村では鋭意消防防災施設等の整備充実と地域防災体制の強化を図っているところであります。

特に、消防防災施設等整備補助金制度を活用して、消防防災施設等の整備は年々強化されているものと

未だ整備は不十分であり、昭和三十六年消防庁告示による消防力の基準にも達していないのが現状であります。

また、自主財源に乏しい町村では、財源逼迫が甚しく、消防防災施設等の整備促進の障害となっており、今後においても困難が予想される状況であります。

昭和三十一年に発足した県費補助制度は昭和六十一年まで継続実施されましたが、平成三年からはしご付き消防ポンプ自動車と救急工作車及び高規格救急自動車の助成が制度化されましたが、消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ付積載車、防火水槽等に対する県費補助は打ち切られたままとなっており、

災害の大規模化による被害を予想するに消防防災施設等の強化が急務であり、県費補助の拡大を強く要望致します。

5. 「消防団員指導員研修」の充実について  
 (大曲市山形支部提案) 現在「消防団員指導員研修」については、秋田県消防協会が日本消防協会から委託を受けて秋田県消防学校において実施されております。

各消防団の受講した団員により、研修は技能習得はもとより、他の消防団員と親睦交流が図られ非常に有意義な研修と聞いております。

この研修の実施要綱では、研修員は消防団につき一名、研修は技能習得はもとより、他の消防団員と親睦交流が図られ非常に有意義な研修と聞いております。

研修員を二消防団から三、五名程度に増員し、研修場所を県内三ブロック研修に分けて開催し、参加者の利便を図るとともに、研修内容も、文化活動、レクリエーション、活動を取り入れることにより、更に魅力ある充実した研修が実現できるように、日本消防協会に対し要望されたいと願うものであります。

6. 無火災運動表彰の規定改正について  
 (横手市平鹿支部提案) 無火災表彰については、市町村挙げての火災予防運動の成果に対する評価として表彰しているものであります。無火災に限られており、関係者の懸命な努力にもかかわらず、都市化の進行や火取扱いの複雑化に伴い、その達成は年々難しいものとなっております。

人口・世帯数の多い市町村にあっては、等しく火災予防活動に尽力しながらも極めて達成困難な状況にあり、

また、近年山林原野の立ち上り増加に伴い、林野等の火災も多発しており、これらを含み極めて軽微な火災により、地域住民一体となった予防運動の成果が水泡と化する例も見受けられ、火災予防運動への熱意がそがれることを懸念するものであります。

これらの実情に鑑み、住民及び消防団員の努力が等しく評価されることにより、一層の士気の高揚に資するため、表彰の種類並びに評価について、次のとおりとすることを要望し提案するものであります。

1. 無火災表彰に加え、火災予防運動の成果が顕著であり、かつ人口・世帯数に対する出火回数、焼失面積、死者等の有無など総合的な評価が優秀である市町村

に対して表彰を創設すること、

2. 交通事故による車両火災、他に類焼及ぼさない焼身自殺などを表彰評価対象から除外し、レクリエーション活動を取り入れることにより、更に魅力ある充実した研修が実現できるように、日本消防協会に対し要望されたいと願うものであります。

3. 積載車導入に関する消防防災設備整備費補助金の補助額の引き上げについて  
 (湯沢市雄勝支部提案)

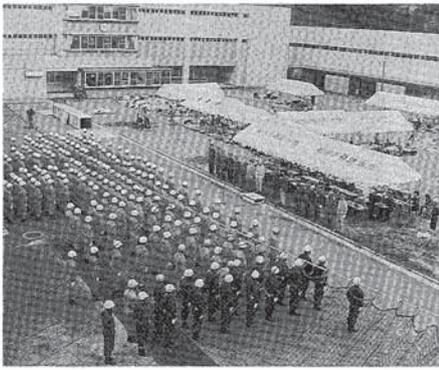
積載車導入に関する消防防災設備整備費補助金の補助額の引き上げについて、

消防団の活性化を図るためには、安全を第一に機動力の強化を図ることが最大の急務であります。現在、我々消防団の機動力の主力は、可搬式小型動力ポンプであります。火災等の現場に一刻も早く出動するために、積載車の導入推進を積極的に図る必要があり、

積載車導入に関する消防防災設備整備費補助金の補助額の引き上げについて、

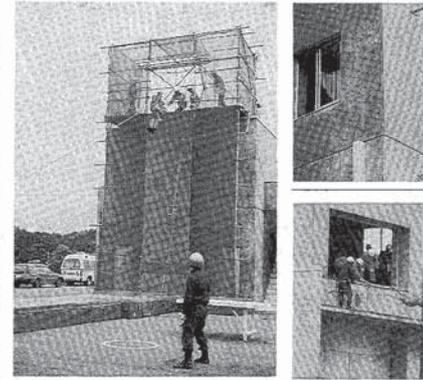
### 高度な救助技術を駆使し、第二十三回消防救助技術秋田県大会が開催される

六月二十四日 県消防学校



六月二十四日(金)岩城町の秋田県消防学校において、第二十三回消防救助技術秋田県大会が、盛大に開催された。この大会は、高度な救助技術を練磨し、また、いかなる災害現場にも耐えうる強体力と精神力を養うことを目的として、昭和四十七年から毎年開催しているものである。今次大会は、八種目に秋田県内十四消防本部から一〇三の個人・団体延べ二二六名の隊員が参加した。

開会式では、大会会長である、秋田県消防長会長 桜田秋田市長から、



日頃の各消防本部での訓練成果を十分に発揮されることを期待いたします。との激励をこめた挨拶があり、続いて出場隊員を代表して、鹿角広域行政組合消防本部三ヶ田隊員が力強い宣誓を行い、競技が開始され、各出場隊員も日頃の訓練の成果をいかんなく発揮し、優秀な成績を挙げ終了した。

なお、七月二十一日福島県消防学校において開催される第二十三回東北地区支部消防救助指導会には、この大会の上位入賞者の中から、次の隊員が出場することになった。

ゆたかな未来を築くために

消防団員のための消防互助年金に加入を!

(20歳加入、60歳年金開始の場合)

20年間年金累計 (月額5,000円) 120万円

10年間受取額累計 約1,368万円

20年間受取額累計 約3,207万円

財団法人 日本消防協会

消防 半天・帯・団旗 優勝旗・ゼッケン 手拭・タオル・のれん 旗幕類名入染物専門

寺田染工場

横手市清川町 32-0416

トートワツ消防ポンプ 森消防 秋田 総合防災設備センター

株式会社 高義商会

(営業種目) トートワツ自動車ポンプ 森消防自動車ポンプ エンジンポンプ 消防被服 消防器具 各種機器

〒012-01 本社 秋田県横川町 電話(0183)(42)2125  
 〒012 湯沢市田町 電話(0183)(73)2588  
 〒019-05 十文字町本町 電話(0182)(42)0032



平成六年度全国統一防火標語
安心の暮らしの中心
火の用心
初代会長 松野 盛吉
定価 1部 5円
(購読料は年会費に含む)
秋田市中通4丁目3-23
消防協会 会部
秋田県 消防協会
会長 藤田 康
電話 0188-32-3791
FAX 0188-34-2706
郵便番号 010
秋田山王門丁目5-29
松置印刷社
株式会社
電話 0188-62-8780

# 小規模消防本部の広域再編など 消防の対応力の強化策について(1)

はじめに

今日、消防は、災害の複雑多様化、救急業務の高度化等の消防需要の急増に対応し、住民の信頼と期待に応えられる高度な消防サービスを提供を求められている。
しかし、全国の消防本部の組織体制は、規模の小さな消防本部が多数を占めているのが実態であり、一般に小規模消防本部の場合、財政基盤や人員、施設整備の面で、高度な消防サービスの提供に課題を有している。
このため、全国消防協会、全国的に小規模消防本部の再編及び組合消防の強化の要請や動きが生じているところであり、消防庁としては、このような全国的な消防の体制の見直しの要請に迅速に対応し、先ず平成四年度に「小規模消防問題検討委員会」を設置し、全国の消防本部に対する実態調査等を通じて、小規模消防本部、組合消防本部の問題点を整理した。そして平成五年度においては、学識経験者、消防関係者を委員とする「消防の対応力強化方策検討委員会」を設置し、これらの問題点の解決方策を検討するとともに、長期的な視点にたった消防組織の在り方についても検討を行ってきたところである。このため、その報告書がまとめられたので、その概要を紹介する。

## 検討委員会報告書の概要

① 小規模消防本部の現状と課題
全国的な消防本部を職員規模別にみると、五十人未満の消防本部が二十四・九％、百人未満の消防本部が六十・五％と、小規模消防本部が多数を占めている。小規模消防本部については、次のような問題点が指摘される。
① 消防職員の充足率
車両の充足率が低い、消防職員の業務割合が高く専門的体制の整備が困難である、火災放水開始時間、救急現場到着時間、火災現場での業務運営面の問題点、
② 人事ローテーションの設定が困難、ボストの不足等の人事管理面の問題点、
③ 財政的基盤が小さく、高価な資機材の導入に困難を伴う等の財政運営面の問題点、
④ 救急業務や予防業務の高度化等新しい消防需要への対応が、財政的、人的制約から困難である。

は組織的、制度的な改善を図る必要がある。したがって、小規模消防本部を広域的に再編し、消防本部の規模自体を大きくすることに、小規模消防の課題を解決していく必要がある。
消防本部の適正規模
消防本部の適正規模は、職員数や管轄人口を基として一律に論ずることは適当でないが、概ね次の点を考慮する必要がある。
① 住民への適切なサービスの提供を行う上での観点
② 地形、交通事情、住民の日常生活、医療圏との関係等から、とりわけ、地域と規模であること、
③ 効率業務運営を行う上での観点
④ 火災等の災害の頻度と消防に対する投資とが全体として均衡の取れる地域と規模であること、
⑤ 人事・財政面で、この規模のメリットを生かせるという観点
⑥ 計画的な職員採用、円滑な人事ローテーション、専門家の養成ができる職員規模と、高価な資機材の購入が円滑に行われる財政規模を有する組織であること、
⑦ その他の観点
広域市町村圏、二次医療圏等既存の関連する行政の枠組との整合性、職員の通勤、転勤等に無理が生じないこと、地域の歴史・住民感情等、
⑧ 消防本部の在り方についての共同検討
広域再編に伴う施設整備に関する年次計画の策定
広域消防の運営に要する経費の負担区分の検討
④ 広域再編を推進するに当たっての留意点
ア 消防団との連携
協働体制を密にする
イ 消防本部の規模の拡大に伴う行政能力の向上を、住民サービスの向上に活かしていく
ウ 業務運営に配置する人員の確保
消防本部の適正配置や通信指令システム、改善等に努め、可能な限り現着時間を短くするよう配慮すること、
⑤ 年金開始日
年金開始日は、年金の受給権を取得した日(満六十五歳)もしくは、加入者が、現行の十年保証年金のほかに、年金の受給権取得時に十年確定年金を選択したことができるものとする。
⑥ 年金の選択
加入者は、現行の十年保証年金のほかに、年金の受給権取得した加入者が、年金開始時に年金に代える一時的な資金(ウラハツツク)

# 四十歳から特別年金・弔慰金制度の新設 消防互助年金規約の改正

## 改正内容説明会を開催

消防協会では八月一日秋田市消防高会議において支部事務担当者会議を開催し、本年度事業の推進等について協議したが会議に引き続いて日本消防協会から武藤文夫年金課長を招いて消防互助年金制度の改正についての説明会を行った。その概要は次の通りである。
(消防互助年金規約の一部改正)
消防互助年金規約の一部改正については、これと一体的な運用を行う消防互助年金弔慰金等交付要綱とともに、平成六年四月二十一

日の日本消防協会福祉委員における審議を経て、同年五月十七日に日本消防協会代議員会で決定された。(改正の背景)
資産運用環境の悪化
一 資産運用後の経済不況の中で株価の下落、金利の低下等によって生命

保険会社等の年金資産の運用環境が悪化し、本制度の運営に必要な利回りが得られなくなったこと、また、将来を展望しても現行の給付水準を維持していくことは極めて困難な状況にあること、
二 改正による保証利率の引き下げ
厚生年金基金の保証利率が改正により平成六年四月から四・五％に引き下げられ、企業年金契約についても同様の措置がとられることとなったこと、
(改正のポイント)

一 主な改正事項
ア 初年度年金月額
初年度年金月額により、四・五％の利率により計算することになり、年金月額が変わること、
イ 特別年金
加入者が満四十歳以上かつ事実上期間二十年以上で脱退した場合、特別年金として十年確定年金を支給し、もしも加入者が希望する場合は、特別年金に代えて、保証期間の残余期間に応じた年金現価相当額を一時的に

して支払うものとする
ウ 制度運営費
本制度の運営費は、掛金の一％相当額として、掛金額に含まれるものとする。
二 その他の改正事項
ア 加入人口の増加及び減口
最高加入人口の限度を三十口に引上げ、減口(最低加入人口は維持もできるものとする。ただし、減口時、給付金の払い出しはできないものとする。
なお、減口の取り扱

いは、四月一日及び十月一日加入者については平成七年十月一日から、一月一日及び七月一日加入者については平成八年一月一日から取り扱うものとする。
イ 掛金の払込
掛金の払込は年金開始年齢(満六十五歳)に達する日までとする。また、加入後、支払期間が十年を経過したときは、加入者は、全口減口により掛金の払込を停止することが

への重点的支援(モデル)広域消防の設置
(一)都道府県との誘導策
都道府県内の広域化基本計画の策定
広域再編の働きかけ、協議の場の設定
「市町村、消防本部」に期待される事業
例)
消防組織の在り方についての共同検討
広域再編に伴う施設整備に関する年次計画の策定
広域消防の運営に要する経費の負担区分の検討
④ 広域再編を推進するに当たっての留意点
ア 消防団との連携
協働体制を密にする
イ 消防本部の規模の拡大に伴う行政能力の向上を、住民サービスの向上に活かしていく
ウ 業務運営に配置する人員の確保
消防本部の適正配置や通信指令システム、改善等に努め、可能な限り現着時間を短くするよう配慮すること、
⑤ 年金開始日
年金開始日は、年金の受給権を取得した日(満六十五歳)もしくは、加入者が、現行の十年保証年金のほかに、年金の受給権取得時に十年確定年金を選択したことができるものとする。
⑥ 年金の選択
加入者は、現行の十年保証年金のほかに、年金の受給権取得した加入者が、年金開始時に年金に代える一時的な資金(ウラハツツク)

**株式会社タカギ**

秋田県横手市寿町2番9号  
TEL (0182) (32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ	各種消防機械器具
トールポンプ	各種消防器具
各種消防器具	各種消防器具
消防設備保守	消防設備保守

消防設備はソフト  
(保守点検)が決めて!

消防設備の点検設置のご相談は

**猿田興業株式会社**

秋田県山王六丁目10-9番63-1551(代)

火災報知設備・消防ポンプ・消火器

森田ポンプ ラビットポンプ

桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式

各種消火器 ガス水道工事一般

簡易自動消火装置ユーホ ¥25,000

**株式会社 協立**

能代市栄町12の3 〒016  
TEL (0185)(52)6361代表









# 平成六年度 消防職員初任教育修了式

十月七日 秋田県消防学校



平成六年度の消防職員初任科教育第四十八期生修了式が十月七日(金)午前十一時から由利郡横手町の秋田県消防学校講堂において行われた。

この初任教育課程は、本県常備消防の将来を担う各消防本部の新採用職員等を対象に行っているもので、消防学校における最も教育期間の長い重点的教育訓練課程となっている。

この日、修了式を迎えた学生八十一名は、本年四月五日に入校し、消防に関する基礎学科及び実訓練等に励むこと六ヶ月、この間における厳しい訓練に耐え、自らを鍛錬し、所定の全課程を履修した。小山田学校

## 「第一回全国女性消防団員 活性化シンポジウム」に参加して



大館市消防団第二十六分団 分団長 斎藤 啓子

去る九月十日静岡県沼津市において「女消防団員の役割を再考する」をテーマとする「シンポジウム」が開催されました。

秋田県消防協会からの協力依頼により、我が二十六分団から二名参加させて頂きました。

我が分団は、結成して満三年経つたのですが地域内の防災訓練や規模訓練を始めとして消防訓練大会に参加し、徐々に地域に密着し

つつあります。しかし消防活動には、まだ不安が多く、これから女性消防団員として何をなすべきか悩んでいたときであり、他県の消防団の活動を、知る良い機会に恵まれました。

「大企業スケジュー」を手に、胸の高まりを抑えることができませんでしたが、会場にあられた沼津市民文化センターは、用意された約一、六〇〇席がほぼ満席で圧倒されるばかりの熱気でした。

シンポジウムのオープニ

ングに続き、女性消防団員のみを対象とした年齢別の体験発表がありました。私と同じ入団をして三年目である長野県宮下さん、入団当初「冠年」といなるだろうと不安だったそうですが、今では高齢者と活動を広げて、消防活動に、女性の活躍の場を確保し、今後の活躍を期待したい。

り、今後の活躍を期待したい。初任教育(第48期) 修了生名簿

秋田市消防本部 小島 伸樹、長崎 幸人、高橋 英純、伊藤 隆行、相原 貴臣、泉原 雄介、赤根 雄介、佐藤 直之、竹内 裕広、伊藤 健史、寺門 健史、池田 明宏、鹿角広域行政消防本部 佐藤 考裕、小笠原 博樹、木村 良樹、栗山 山治、大館周辺広域消防本部 鎌田 清晴、加賀谷 進浩、石戸谷 忍之、佐々木 賀之

例え、広報活動、出初式・月一回のボブ操法、各地区イベント(音楽隊の活動)、高幹社でのボランティア、災害時の防火・消火の取扱い、沢山の地域とのかかわりを通じての自己啓発等々でした。本県消防の新しい精鋭として巣立った八十一名の所属、氏名は次のとおりである。

大館市消防本部 芳賀 直人、長崎 幸人、中嶋 則幸、長崎 隆宏、石山 錦晴、能代地区消防本部 伊藤 洋右、佐藤 英貴、加藤 貴貴、田村 裕貴、山本郡南部地区消防本部 藤原 克美、湖東地区消防本部 佐藤 誠誠、三浦 亨樹、小柳 浩樹、工藤 宗春、男鹿地区消防本部 武藤 和則、河辺雄和地区消防本部 佐々木 博隆、本荘地区消防本部 岡部 孝樹、小笠原 明彦、高橋 忠英、佐藤 一仁

「シンポジウム」に、女性消防団を結成してまだ日の浅い我が分団が、秋田県代表として参加でき、大変有意義な機会となりました。また、私たちの参加について推薦下さいました関係者の皆様にお礼申し上げます。

これからの我が消防団の活動に、女性特有の生きかさをソフトな面を生かして、開催地沼津市からよく眺められる日本一の富士山のように美しく、すそ野を広くし、地域防災の一翼を担い、住民生活の安全に貢献していきたいと思っております。

最後に、沼津市長や開催地の関係者の皆様のご温かいご声援に感謝と感謝をいっぱいであり、心からお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

男鹿地区消防本部では、秋の火災予防運動に先駆け、中学校の生徒と地域住民の防火意識の高揚のため、毎年防火弁論大会を開催しております。

今年も男鹿中学校を会場に、対象中学校一〇校、十三名の参加により九月十四日に実施しました。

弁論内容は、身近で起った火災の恐ろしさ、家庭での防火、受験勉強を控えて「防火のための第一歩」

「防火のための第一歩」

仁賀保地区消防本部 工藤 正章、畑中 一樹、斎藤 隆男、伊藤 敬智、矢島地区消防本部 伊藤 敬智、茂木 公之、湯沢雄勝広域消防本部 阿部 世紀、佐々木 博之

横手平鹿広域消防本部 佐藤 幸夫、佐藤 公治、近藤 嘉真、阿部 世紀、湯沢雄勝広域消防本部 阿部 世紀、佐々木 博之

男鹿東中学校 二年 鎌田知子、天王中学校 三年 安田乙光、男鹿南中学校 三年 渡辺真理

「心がけることの大切さ」 湯西中学校 二年 児玉郁美、「責任ある行動を」 男鹿南中学校 三年 渡辺真理

佐々木 昭夫、高橋 幹夫、高橋 直樹、奥山 正隆、永井 大智、藤原 博、藤原 伸浩

佐々木 昭夫、高橋 幹夫、高橋 直樹、奥山 正隆、永井 大智、藤原 博、藤原 伸浩

佐々木 昭夫、高橋 幹夫、高橋 直樹、奥山 正隆、永井 大智、藤原 博、藤原 伸浩



火の用心

火の用心  
お目見え

森田ポンプ ラビットポンプ  
桜ホース・ソフト吸菅 消防被服一式  
各種消火器 消防器機一式

株式会社 協立  
株式会社 能代消防センター

能代市栄町12の3 〒016  
TEL (0185)(52)6361  
(52)6494

第22回 男鹿地区中学校防火弁論大会

「防火のための第一歩」

「心がけることの大切さ」

「責任ある行動を」



# 第10回全国婦人消防操法大会 大雄村北部婦人消防隊善戦

## 柴田会長も応援

日本消防協会主催の第10回全国婦人消防操法大会は十月二十七日、横浜市消防訓練センターで全国四十七都道府県の代表が参加し盛大に開催された。

当日は朝から小雨模様で天候が悪く、倒れる隊員も多かった。また、大会の運営も大変な苦戦を強いられた。大会は、大雄村北部婦人消防隊は、第三コース七番目に出場し、指揮者 佐々木とし子、一審員 松下のり子、二審員 松下 良子



三審員 日野原千恵子、四審員 小松 幸、補審員 小松 京子、柴田会長、佐々木大雄村長、地元消防団、出場隊員の家族の応援もあつた。

本県代表の大雄村北部婦人消防隊は、第三コース七番目に出場し、指揮者 佐々木とし子、一審員 松下のり子、二審員 松下 良子

日本消防協会主催の第10回全国婦人消防操法大会は十月二十七日、横浜市消防訓練センターで全国四十七都道府県の代表が参加し盛大に開催された。

四月五日入校式、それからはや六カ月がたった。今度の感想は、「光陰矢の如し」の言葉とおそろい。入校したとき、学校職員の方々はじめ、八十一人のみんなと一緒だった。自分はずっとこの面を成長しているのだろうか、ということ、頭のなかで浮かんできます。

現在、日本は諸外国に例をみないほど急速に高齢化が進み、一九九四年の総人口に対し高齢者の比率が二〇二五年には、二五・三〇%と、四人に一人が六五歳以上になると予想されています。二世紀初頭には、西欧先進国並みの高齢化社会を迎え、人口の増加、人口に対する割合が七割まで、わずかに四年と、いっせいで急速な速度で進展したため、種々の問題を醸し出しています。

この六カ月間を思い出すと、最初から汗を流した体力測定、足が一週間痛かった。今日歩大会、みんな大声をかけた。救助訓練、流した汗を流した。焼肉の焼肉とビールがともおいしかった。今でもはつきり覚えています。そして、初めて行った北海道、ポツポツと鹿角の防災訓練の

見学、その他まだまだいっぱいありきりがありませう。今となつては、すべからしい思い出です。なごみ、八十一人のみんなと一緒だった。自分はずっとこの面を成長しているのだろうか、ということ、頭のなかで浮かんできます。

力に推し進められている。価値の多様化や、高齢者でもあり、地域での防災思想の普及は困難を極めています。このような状況下で、地域を主とする、きめ細かく女性の特性を生かした、地域に根ざした活動をしたいのが婦人消防隊であります。この婦人消防隊は全国で七三三〇隊、約一三〇万人が活動しており、その全国都道府県代表者が集い、競う、第十回全国婦人消防操法大会は、十月二十七日横浜市消防訓練センターで開催され、秋田県から大雄村北部婦人消防隊が出場しました。北部婦人消防隊は、役員から近い新町町内を中心とした消防隊であり、通りには激励の横断幕が掲げられ、村当

とて長かったです。もうこうやって大勢で勉強したり、遊んだりすることはないと思いましたが、もしまんみなで会えたら、酒でも飲みながらこの学校生活を思い出して、話ができたら感激です。これは自分の夢の一つに入れておきたいと思ひます。

最後に、職員の皆様方が、いろいろとごさいました。そして、これからも、よろしくお願ひ致します。

ふれあい広場、能代地区消防本部では、九月二十九日、能代市で開催された秋田県消防協会に、あわせ「一九九消防ふれあい広場」を開いた。

能代地区消防本部では、十月二十九、三十日の両日、多くの市民に消防活動に対する理解を深め、また市民の防火、防災意識の一層の高揚を図ることを目的に「一九九消防ふれあい広場」を開いた。

能代地区消防本部では、十月二十九、三十日の両日、多くの市民に消防活動に対する理解を深め、また市民の防火、防災意識の一層の高揚を図ることを目的に「一九九消防ふれあい広場」を開いた。

能代地区消防本部では、十月二十九、三十日の両日、多くの市民に消防活動に対する理解を深め、また市民の防火、防災意識の一層の高揚を図ることを目的に「一九九消防ふれあい広場」を開いた。

能代地区消防本部では、十月二十九、三十日の両日、多くの市民に消防活動に対する理解を深め、また市民の防火、防災意識の一層の高揚を図ることを目的に「一九九消防ふれあい広場」を開いた。

# 全国消防操法大会 準優勝の栄に輝く 秋田県大雄村消防団

大雄村消防団は昭和四十三年六月二十八日、団員十五名で結成され今年で二十六年目を迎えました。

大雄村は、秋田県の西側に、大雄中央、男鹿半島の東側にあり、遠く北に世界遺産の白神山地、南に雄勝半島、山を望む広大な沃野にある村であります。

昭和三十一年国営干拓事業によって干陸された八郎湖は、新生の大地、大雄村に生まれ変わりました。六世帯十四人で発足した大雄村は模範的な農業経営と明るい農村社会建設とをテーマを背負って、秋田県で六十九番目に誕生した一番新しい村です。

北海道から沖繩まで、三百八十九名から入植者は五百三十四人の村民がそれぞれの上位を独占しております。今年大会出場は昭和六十一年に続き今回が三度目の出場でありましたが、三度目にして準優勝の栄に輝く年に花を添えることができました。

この大会に来るには、今回出場選手、コーチ陣を全大会へ研修に出し勉強していたらと、共に上位入賞を目指し、早朝訓練または農作業で疲れた身体を鞭打つての訓練と、訓練に訓練を重ねて参りました。

しかし、消防団員の力だけでは到底ここまで成し得るものではありません。行政、議会、村民、団員の家族の理解と協力、さらには秋田県消防学校、男鹿地区消防署、秋田消防協会等あらゆる機関の多大なるご支援とご協力こそ、ご指導があつてこそ準優勝の栄に輝いたものであります。

ここに、関係機関、関係各位に対し衷心より厚く御礼と感謝を申し上げます。

この大会に来るには、今回出場選手、コーチ陣を全大会へ研修に出し勉強していたらと、共に上位入賞を目指し、早朝訓練または農作業で疲れた身体を鞭打つての訓練と、訓練に訓練を重ねて参りました。

# 消防学校の六カ月間 を振り返って

見学、その他まだまだいっぱいありきりがありませう。今となつては、すべからしい思い出です。なごみ、八十一人のみんなと一緒だった。自分はずっとこの面を成長しているのだろうか、ということ、頭のなかで浮かんできます。

力に推し進められている。価値の多様化や、高齢者でもあり、地域での防災思想の普及は困難を極めています。このような状況下で、地域を主とする、きめ細かく女性の特性を生かした、地域に根ざした活動をしたいのが婦人消防隊であります。

能代地区消防本部では、九月二十九日、能代市で開催された秋田県消防協会に、あわせ「一九九消防ふれあい広場」を開いた。

能代地区消防本部では、十月二十九、三十日の両日、多くの市民に消防活動に対する理解を深め、また市民の防火、防災意識の一層の高揚を図ることを目的に「一九九消防ふれあい広場」を開いた。

## 株式会社タカギ

秋田県横手市寿町2番9号  
TEL (0182) (32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ	各種ポンプ	各種ポンプ	各種ポンプ
各種ポンプ	各種ポンプ	各種ポンプ	各種ポンプ
各種ポンプ	各種ポンプ	各種ポンプ	各種ポンプ
各種ポンプ	各種ポンプ	各種ポンプ	各種ポンプ

株式会社 協立  
株式会社 能代消防センター

能代市栄町12の3 〒016  
TEL (0185) (52)6361  
(52)6494

## 消防団員のための 消防互助年金

10年確定年金      10年保証終身年金

特別年金      年金は毎年3%複利で還増

年金開始前の死亡・解約に一時金  
掛金払込中に死亡の場合は外に弔慰金  
加入申込みは消防事務担当へ



# 全県から三百人参加 秋田県婦人防火研修会



「なだの家族を救うために」  
出席者 秋田消防署 消防団指導員

十一月二十四日秋田県婦人防火クラブ連絡協議会(斉藤栄子会長)主催の「秋田県婦人防火研修会」が、クラブ員など関係者約三百人が参加して秋田市文化会館で開かれた。

同連絡協議会は平成三年県内市町村の婦人防火クラブ員らによって結成され、毎年研修会を開いて火災予防意識の高揚とクラブ組織の育成に努めている。

今回は「応急手当」をテーマに秋田消防署高規格救急隊員による寸劇のほか、秋田大学医学部付属病院救急部副部長の田山啓司先生

が講演した。寸劇では、救急隊が実際に遭遇している救急現場の状況を四部構成で演じ、そのひとつひとつのついでに重要な問題が存在しているかを勉強するもので、非常にリアルで楽しく、隊員の熱演で笑いながら家庭でできる簡単な応急手当の必要性と重要性を訴えた。

また、防火演習として、同連絡協議会役員による「婦人防火クラブ音頭」の踊りが披露された。

続いて田山先生が「八人の命を救うためにあなたは何をするべきか」と題して講演し「救急医療体制を考えると、その成功の秘訣は、一に搬送の方法、二には市民の意識改革である。特に市民の協力が非常に重要で成功させる一番大きな要因である」と力を説きながら、出血と止血やけつ、頭部の怪我、胸首、背中の怪我などの応急処置について述べられた。

# 20チームが「ガくらべ」 全県消防職員 鹿角広域がV 綱引き大会



第一回全県消防職員綱引き大会が、岩手県鹿角市に連日、由利郡岩城町の秋田消防学校屋内訓練場で行われ、会場は競技と応援の熱気に包まれた。

この大会は、秋田県消防長会の主催で秋田県消防学校校友会が共催し消防職員の体力錬成と職員相互の親睦を図る目的で開催されたもので、県内十七消防本部から二十チーム(一チーム八名)が参加し、四ブロック

クで予選リーグを行い、ブロック代表四チームで決勝戦を行った。

はじめての試みでもあったので、お互いに相手の力があわらず苦戦したところも多かったが、応援団も緒になってにぎやかに声援を送って楽しんだ。

結果は次のとおりであった。

①鹿角広域行政組合消防本部の太田周辺広域市町村圏組合消防本部③湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部④藤沢阿仁広域市町村圏組合消防本部

# 消防団員指導員研修了 県消防学校において開催

県消防協会では十月三十一日から十一月二日までの三日間、消防団幹部としての必要な知識と技術を修得させるため、消防団員幹部を対象に「消防団員指導員研修会」を秋田県消防学校において、同校の協力を得て実施した。

この研修会は、地域防災の中核としての役割を果たす消防団員の任務の重要性に鑑み、消防団員の防災技術の向上を図るため、消防団員の教育訓練の指導にあたる者を研修することを目的として行われたもので、十

- 五名の方々が終始熱心に研修を受け、有意義に修了した。
- 修了式は、二日午後三時三十分から行われ、日本消防協会会長の修了証及び指導員章が授与された。次の方々である。
- 大館市消防団 分団長 石井 章司
  - 大瀨村消防団 部長 村上 誠一
  - 大内町消防団 副分団長 宇津野 眞
  - 大曲市消防団 班長 三浦喜代美
  - 西仙北町消防団 班長 石橋 暎祥
  - 角部町消防団 分団長 斎藤 清美
  - 中仙町消防団 副分団長 高橋 誠
  - 中仙町消防団 部長 藤田 利孝
  - 湯沢市消防団 分団長 明平 茂豊
  - 湯沢市消防団 分団長 季子 和春
  - 湯沢市消防団 班長 高橋 喜信

# 緊急以外の電話で悲鳴

「間違い」「いたすら」「問い合わせ」



火事と救急は二一九番この誰かが当たり前と思っているのは、緊急通報の電話番号でも、実際は間違い、無音、いたすらなどの迷惑または悪質なものが、その間に合わせ、病院紹介の相談など、本来一般加入電話を利用すべきものでかなりの数にのぼっている。二一九番は悲鳴をあげている。

例えば、秋田市消防本部の場合、平成五年の二一九番受信件数は一〇、一九〇件(回線試験二、〇二八件を除く)。このうち緊急

通報の火災は四三〇件、救急救助等四、八一〇件など計五、二四〇件、全体の五二、四%。これに対し、間違い、一、四二七件、無音一、四五四件、いたすら二、三九件、合わせて三、一一〇件、全体の三〇、六%も合わせ、相談なども一、四五三件とこれまた多いのが実情である。

このため通信指令課の職員も、本当に緊急を要する通報がなならないことがあつた。このうち緊急

# 加入のすすめ 婦人消防隊員福祉共済 八〇〇円の掛金で最高五〇〇万円保障

婦人消防隊員(名称は防火クラブでも可)が、防災活動中やそれ以外の事故、または病気により死亡、障害状態あるいは入院した場合の保障制度

保障内容

加入方法	加入申込は、個人又は隊(クラブ)ごとに、市町村(消防本部)に加入を申し込む(出来るだけ加入の時期の前月までに)
入院見舞金	一日につき六〇〇円 隊務中の事故、疾病は二〇日以上二二〇日まで 隊務外の事故、疾病は二〇日以上二二〇日まで
障害見舞金	事故、疾病による障害状態の場合(隊務中、隊務外を問わない) 二五万円(三万円)
重度障害見舞金	五〇〇万円(災害発生時等の隊務中に重度障害状態の場合) 三〇〇万円(隊務中に重度障害状態の場合) 一〇〇万円(隊務外で重度障害状態の場合)
甲 慰 金	五〇〇万円(災害発生時等の隊務中に死亡した場合) 三〇〇万円(隊務中に死亡した場合) 三〇万円(隊務外で死亡した場合)

- (1) 加入資格……七六歳未満で健康な者  
(2) 加入の時期……毎年四月一日、七月一日、十月一日、一月一日のいずれか(加入日)  
(3) 保障期間……加入日から三月三十一日まで(最高年間)  
(4) 掛 金……(一人当り)  
四月一日加入(公高) 一〇〇円  
七月一日加入(公高) 一〇〇円  
十月一日加入(公高) 一〇〇円  
一月一日加入(公高) 一〇〇円
- (5) 掛金の払込方法  
加入申込時に、個人又は隊(クラブ)ごとに、市町村(消防本部)で取りまとめ、送金通知書添付のうえ、遅くとも加入日の属する月の十五日までに県消防協会へ送金してください。
- (6) 共済金の申請及び支払  
所定の様式により市町村(消防本部)から都道府県消防協会を経て日本消防協会に送付します。日本消防協会は共済金支払請求書に基づき、県消防協会(市町村(消防本部))を経て、受取人に支払います。

消防施設工事 秋田県知事許可(般-50)4370号  
指名競争入札参加資格 秋田県A級(第8号)  
秋田県消防設備保守協会会員

消防設備はソフト(保守点検)が決めて!

消防設備の点検設置のご相談は  
**猿田興業株式会社**  
秋田市山王六丁目10-9 ☎63-1551(代)  
火災報知設備・消防ポンプ・消火器

消防団員のための  
**消防互助年金**

10年確定年金 10年保証終身年金

特別年金

年金は毎年3%複利で増

年金開始前の死亡・解約に一時金  
掛金払込中に死亡の場合は外に弔慰金  
加入申込みは消防事務担当へ

10月の火災発生件数(全県)

区 分	建物	その他	死者	り世	災害
10月	24	8	5		22
累計(1月~10月)	232	156	25		196
前年累計B(1月~10月)	234	121	30		218
前年対比A-B	△2	△35	△5		△22



# 新年のごあいさつ

消防中学校長

飯田 志農夫



平成七年を迎え、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。消防関係の皆さまが、日頃、それぞれの地域において、住民の生命、身体、財産を火災やその他の災害から守るため献身的な努力をされていくことに、心より敬意を表する次第であります。

このように近年の社会経済情勢の著しい変化に伴い、消防行政も多くの新しい課題を抱えるに至っております。消防関係者は、これらに的確に対処して、着実に解決していくためには、まず、そのためには、消防に関する高度の知識と技術を持ち、総合的かつ実践的行動力、指導力を兼ね備えた消防幹部の養成は極めて重要な課題であります。

消防学校等においては、このような認識のもとに、また、消防学校等との機能分担にも配慮して、消防職員の幹部の教育訓練に励んでいくところであります。

# 新年のご挨拶

陸上自衛隊秋田駐屯地司令

一等陸佐 矢澤 昌志



平成七年を迎え、謹んで新年のご挨拶申し上げます。消防関係者の皆様には、日頃からの御活躍と御苦労に心より敬意を表し、今年もご多幸を祈念し、年頭のご挨拶といたします。

さて、近年県内において自衛隊が動員された大災害が発生してないことは喜ばしいことであり、県をはじめとして各市町村の万全の防衛を期していただいております。

災害や事故の発生状況をみますと、昨年はロサンゼルス市近郊のノースリッジ地区で発生した都市直下型地震やインドネシアのジャバ島等で大きな地震が発生しており、国内には、北海道釧路沖地震や名古屋北港での中華航空エアバス炎上事故など大規模な災害や事故が発生したのであります。

このように、消防関係者の皆様は、災害や事故の発生状況をみますと、昨年はロサンゼルス市近郊のノースリッジ地区で発生した都市直下型地震やインドネシアのジャバ島等で大きな地震が発生しており、国内には、北海道釧路沖地震や名古屋北港での中華航空エアバス炎上事故など大規模な災害や事故が発生したのであります。

本県における消防体制は、年々著実に整備強化されてきており、その活動においては、地域に密着した消防、救急、防災など広範な業務を、行い、県民生活の安全確保に努めて重要な役割を果たすとともに着実にその実

たかくとも、県総合防災訓練に参加するなど、万が一災害発生した場合に、県民の要請により、直ちに救援活動が可能となるよう準備を周到にしております。

# 新しい年によせて

秋田県消防協会

副会長 関 富治



新年明けましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい平成七年の新春を迎え、消防関係者皆様とともに心から御慶び申し上げます。

消防関係者の皆様は、日頃からの御活躍と御苦労に心より敬意を表し、今年もご多幸を祈念し、年頭のご挨拶といたします。

さて、近年県内において自衛隊が動員された大災害が発生してないことは喜ばしいことであり、県をはじめとして各市町村の万全の防衛を期していただいております。

このように、消防関係者の皆様は、災害や事故の発生状況をみますと、昨年はロサンゼルス市近郊のノースリッジ地区で発生した都市直下型地震やインドネシアのジャバ島等で大きな地震が発生しており、国内には、北海道釧路沖地震や名古屋北港での中華航空エアバス炎上事故など大規模な災害や事故が発生したのであります。

本県における消防体制は、年々著実に整備強化されてきており、その活動においては、地域に密着した消防、救急、防災など広範な業務を、行い、県民生活の安全確保に努めて重要な役割を果たすとともに着実にその実

たかくとも、県総合防災訓練に参加するなど、万が一災害発生した場合に、県民の要請により、直ちに救援活動が可能となるよう準備を周到にしております。

# 年頭のごあいさつ

秋田県警察本部長

米村 敏朗



明けましておめでとうございます。平成七年の年頭に当たり、消防関係者の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。また、平素における皆様のご活躍とご労苦に対し、深く敬意を表します。

このように、消防関係者の皆様は、災害や事故の発生状況をみますと、昨年はロサンゼルス市近郊のノースリッジ地区で発生した都市直下型地震やインドネシアのジャバ島等で大きな地震が発生しており、国内には、北海道釧路沖地震や名古屋北港での中華航空エアバス炎上事故など大規模な災害や事故が発生したのであります。

# 年頭のあいさつ

秋田県指定水防管理団体連合協議会会長

大館市長 小畑 元



明けましておめでとうございます。全県の防災関係者の皆様は、今年もご多幸を祈念し、年頭のご挨拶といたします。

このように、消防関係者の皆様は、災害や事故の発生状況をみますと、昨年はロサンゼルス市近郊のノースリッジ地区で発生した都市直下型地震やインドネシアのジャバ島等で大きな地震が発生しており、国内には、北海道釧路沖地震や名古屋北港での中華航空エアバス炎上事故など大規模な災害や事故が発生したのであります。

消防施設工事 秋田県知事許可(般-50)4370号  
指名競争入札参加資格 秋田県A級(第8号)  
秋田県消防設備保守協会会員

**消防設備はソフト(保守点検)が決めて!**

消防設備の点検設置のご相談は  
**猿田興業株式会社**  
秋田山王六丁目10-9 電話63-1551(fax)  
火災報知設備・消防ポンプ・消火器

待はますます高まつております。

団員の皆様におかれましては、より一層の融和と団結をはかり、山積する諸問題を逐一解決され、地域住民の安全確保に努め、その負託に充たされるように、来るべき二十一世紀に向けた自治体消防の充実強化に、更にご尽力賜われ、ご多幸を祈念し、年頭のご挨拶といたします。

この新しい年にあたり、我々消防関係者は、消防使命の益々重大なることを自覚し、安全で住みよい平和な社会の建設を目指して、鋭意努力することを誓い、含めたいと存じます。

最後に、秋田県消防関係者の皆様と全県消防関係者の皆様、ご健勝を心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

# 年頭にあたり

秋田県消防協会  
会長 柴田康二郎



輝かしい平成七年の新春を迎え、全県消防関係者の皆様は、新年のご挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃、消防防災の第一線にあって、火災をはじめ各種の災害から、地域住民の安全を守るため、日夜献身的な活動をされていることに対し、心から感謝と敬意を表するものであります。

昨年は、国内においては名古屋空港における中華航空機事故、全国的に高温少雨という気象条件下での瀬戸内海沿岸地域を中心とした大規模な林野火災、また、北海道東方沖地震災害、そして年末には焼死者を伴った旅路火災等が多発するなど、多種多様な災害が発生してまいりました。

これに引き続いて、幸いにして、本県においてはこれといった災害はなかったものの、四五四件の火災が発生し、二九八人の尊い人命を失っています。また、自然災害による損害額も一六億円に達するなど、災害は依然として住民生活の安全を脅かす大きな障害となつております。

近年、社会経済の発展と高度な技術革新等により、火災をはじめとする各種災害は、複雑多様化しつつ大規模化する傾向にあるとともに、人口の高齢化の進展に伴い、お年寄りや火災などの犠牲となる痛ましい事故が多発していることは、まことに憂慮すべき問題であります。

こうした社会情勢のなかで、住民から信頼される消防体制を維持するためには、これまでにも増して人命の安全確保を軸とした消防防災対策を強力に推進するとともに、近代消防人としての欠けらざる知識と技術の錬磨に努力しなければなりません。

また、地域住民が災害から自分自身を守るため、自衛意識の向上を図ると、消防活動を総合的に展開することも重要な課題であります。

# 新年によせて

秋田県生活環境部長  
簾内 絢一



新しい年を迎え、県民の皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。

私達はとりまき、社会経済情勢は、急速な高齢化の進展、心の豊かさへの志向の高まり、さらには国際化、情報化など大きな様変わりをもたせてきております。こうした変化に的確に対応し、県民一人ひとりが豊かさとゆとりを日々の生活の中で実感できる社会の実現に向けて、諸施策を推進してまいりました。

特に昨年は、新たな施策として、県独自の環境影響評価制度の施行、世界遺産に登録された白神山周辺地域の保全・活用計画策定の着手、イヌワシの保護・繁殖を図るための鳥獣保護区の拡大、大規模な地震が発生したときの被害予測調査などの施策を実施したほか、人生八十年時代を迎え、県民の余暇活用を支援する環境づくりについても検討しております。しかしながら、私達の身の回りには、依然として多くの災害や交通事故、ゴミ問題などの解決しきれない課題が数多く見られます。

昨今、よく耳にする「環境にやさしい」、「ゆとり」、「生活大国」という言葉は、こうした諸問題を解決するうえでキーワードです。

真の豊かさが問われる二十一世紀を前に控え、特にこれからは人間一人ひとりを尊重する視点に立つた

# 年頭のごあいさつ

秋田県市長会長  
秋田市長 石川 錬治郎



平成七年の年頭にあたり、全県消防関係者の皆様におかれましては、ご挨拶申し上げます。

新しい年の始めに、協会会員三千有余人の皆様とともに、秋田県消防の声を高め、平和で安全な住みよい地域社会をつくるため努力をさせていただきます。そして、新春のご挨拶いたします。

さて、近年、わが国のみならず世界各地で、地震や台風などの自然災害や、あるいはガス爆発などの人的災害が、それも多数の尊い生命や貴重な財産を奪う大惨事と呼ぶべき災害が、毎年のように繰り返して発生しております。その模様は、今日、あらゆるメディアを通じてリアルタイムに私たちに伝えられており、その度に、私たちは、災害の恐ろしさや消防力の重要性を再認識させられるところであつて、その中、一人一人の危険を顧みず人命救助のため、勇猛果敢に消火や救助に活動されている皆様方、消防職員

# 年頭にあたり

秋田県町村会長  
阿部悦郎



新年を迎え、謹んでおあいさつ申し上げます。

本県を取り巻く諸情勢は一段と厳しく、農業とりわけ米をめぐる情勢は、ガット・ワールド・アライアメントの農業合意、米の大豊作による減反政策が一層厳しくなっております。

稲作を基幹産業とする本県農業にとりましては、先行きの見えない農政に苛立ちを覚える反面、稲作を含む

むこれらの地域農業の在り方について真剣に議論し、国に対して地域の実態に即した農業政策の確立を訴え行参らなければならぬと考えております。

一方、平成九年に開業する秋田幹線、秋田自動車道の全線開通、平成十年開港の大館代空港、更には日本海沿岸東北自動車道の建設が発表されるなど、高速交通体系が着実に伸張しておりますことは、誠に喜ばしい限りであります。

私共町村長は、これらの高速交通体系の整備に合わせ、地域の特性を活かした観光振興策、地域振興策を講じ、活力ある地域づくり

を推進して参る所存であります。

更に、過疎化、高齢化若者の定住など多くの課題に對しても、六十町村の総意を結集して対処して参らなければならぬと考えております。

本会に對しまして、格別のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご健康とご活躍を心からお祈りいたしまして、新年のごあいさついたします。

11月の火災発生件数(全県)

災害	死者	その他	建物
11月	16	12	20
計A	212	168	252
計B	248	134	263
対比	△7	32	△11



## 株式会社タカギ

秋田県横手市寿町2番9号  
TEL (0182) (32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ	キャンパイル	ホース
トールポンプ	各種消火器	各種消火器
各種消防機械器具		
消防設備保守点検		

森田ポンプ	ラビットポンプ
桜木ス・ソフト吸管	消防被服一式
各種消火器	消防器機一式

## 協立 能代消防センター

株式会社 協立 株式会社 能代消防センター

能代市栄町12の3 〒016  
TEL (0185) (52)6361 (52)6494

トールポンプ 消防ポンプ 消防ポンプ 消防ポンプ

## 株式会社 高義商会

トールポンプ 消防ポンプ 消防ポンプ 消防ポンプ

(営業種目)

トール小型動力ポンプ	ポンプ
森田自動車ポンプ	ポンプ
消防被服	一式
消防器機	一式

〒012-01 本社 秋田県稲川町 Ⅱ(0183) (42)2125  
〒019-05 十文字町本町 Ⅱ(0182) (42)0032

# 年頭のご挨拶

秋田県消防協会  
会長 桜田博道



平成七年の輝かしい新春を迎え、県内消防関係者の皆様と謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、平素、地域住民の安全確保のため日夜献身的に防災活動とされておられますこと、心から敬意を表するものであります。

さて、昨年の、我が国消防の動向は社会情勢の大きな変化の中において、規制緩和による「除物に関する法令の改正」、また職員の勤務時間の短縮など、具体的その行政対応への道を歩みだした年でもありました。

また、昨年の日本列島は七月から八月にかけて、猛烈な暑さと深刻な雨不足に襲われた年でもありました。この影響で全国各地で山火事が発生し、二十ヘクタールを超える大規模林野

火災が西日本を中心に六件も発生し、史上最悪の大被害を受けたのであります。

折しも、秋田県沖に広がる、いわゆる「地震空白域」において大地震発生危険性が研究者から指摘されており、新聞等マスコミでもたびたび取り上げられ報道されております。

このことは、今後、研究機関や国、県の調査結果により、防災業務に關する者としてこの調査研究の結果を重く受け止め、最優先課題として迅速に対処しなければならぬものと考えています。

また、昨年の日本列島は七月から八月にかけて、猛烈な暑さと深刻な雨不足に襲われた年でもありました。この影響で全国各地で山火事が発生し、二十ヘクタールを超える大規模林野

引き続き、強力的関係機関に働きかけを続けてまいり、以上年頭に当たり所感の一端を述べさせていただきました。全県消防関係者の皆様のご多幸とご活躍をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

# 新年のあいさつ

秋田県消防協会  
副会長 奥山利八



平成七年の新春を迎え、あけましておめでとうのご挨拶です。

昨年、冷冬の年かから一転して昨年は猛暑に晒されました。四十二日ぶりに降雨が慈雨と感ぜられたが、消防職員の日頃の活動

により、火災はもとより自然災害等も比較的少なく平穩でありました事、感謝申し上げます。

また、昨年の、我が国消防の動向は社会情勢の大きな変化の中において、規制緩和による「除物に関する法令の改正」、また職員の勤務時間の短縮など、具体的その行政対応への道を歩みだした年でもありました。

さて、昨年の、我が国消防の動向は社会情勢の大きな変化の中において、規制緩和による「除物に関する法令の改正」、また職員の勤務時間の短縮など、具体的その行政対応への道を歩みだした年でもありました。

また、昨年の、我が国消防の動向は社会情勢の大きな変化の中において、規制緩和による「除物に関する法令の改正」、また職員の勤務時間の短縮など、具体的その行政対応への道を歩みだした年でもありました。

また、昨年の、我が国消防の動向は社会情勢の大きな変化の中において、規制緩和による「除物に関する法令の改正」、また職員の勤務時間の短縮など、具体的その行政対応への道を歩みだした年でもありました。

また、昨年の、我が国消防の動向は社会情勢の大きな変化の中において、規制緩和による「除物に関する法令の改正」、また職員の勤務時間の短縮など、具体的その行政対応への道を歩みだした年でもありました。

また、昨年の、我が国消防の動向は社会情勢の大きな変化の中において、規制緩和による「除物に関する法令の改正」、また職員の勤務時間の短縮など、具体的その行政対応への道を歩みだした年でもありました。

また、昨年の、我が国消防の動向は社会情勢の大きな変化の中において、規制緩和による「除物に関する法令の改正」、また職員の勤務時間の短縮など、具体的その行政対応への道を歩みだした年でもありました。

# 年頭に当たって

秋田県消防協会  
副会長 長谷部周治



平成七年の新春を迎え、全県消防関係者の皆様と謹んで年頭のお慶びを申し上げます。

さて、昨年の、我が国消防の動向は社会情勢の大きな変化の中において、規制緩和による「除物に関する法令の改正」、また職員の勤務時間の短縮など、具体的その行政対応への道を歩みだした年でもありました。

また、昨年の、我が国消防の動向は社会情勢の大きな変化の中において、規制緩和による「除物に関する法令の改正」、また職員の勤務時間の短縮など、具体的その行政対応への道を歩みだした年でもありました。

また、昨年の、我が国消防の動向は社会情勢の大きな変化の中において、規制緩和による「除物に関する法令の改正」、また職員の勤務時間の短縮など、具体的その行政対応への道を歩みだした年でもありました。

また、昨年の、我が国消防の動向は社会情勢の大きな変化の中において、規制緩和による「除物に関する法令の改正」、また職員の勤務時間の短縮など、具体的その行政対応への道を歩みだした年でもありました。

また、昨年の、我が国消防の動向は社会情勢の大きな変化の中において、規制緩和による「除物に関する法令の改正」、また職員の勤務時間の短縮など、具体的その行政対応への道を歩みだした年でもありました。

# 新しい年にあたって

秋田県消防学校校長  
小山田昭一



新年明けましておめでとう、年頭にあたり、県内消防関係者の皆様の日頃のご活

躍とご苦労に対し、敬意と感謝の意を表するとともに、本校の運営並びに教育訓練の実施にあたり、平素から格別のご支援ご協力をいただき、心からお礼申し上げます。

また、昨年の、我が国消防の動向は社会情勢の大きな変化の中において、規制緩和による「除物に関する法令の改正」、また職員の勤務時間の短縮など、具体的その行政対応への道を歩みだした年でもありました。

また、昨年の、我が国消防の動向は社会情勢の大きな変化の中において、規制緩和による「除物に関する法令の改正」、また職員の勤務時間の短縮など、具体的その行政対応への道を歩みだした年でもありました。

また、昨年の、我が国消防の動向は社会情勢の大きな変化の中において、規制緩和による「除物に関する法令の改正」、また職員の勤務時間の短縮など、具体的その行政対応への道を歩みだした年でもありました。

また、昨年の、我が国消防の動向は社会情勢の大きな変化の中において、規制緩和による「除物に関する法令の改正」、また職員の勤務時間の短縮など、具体的その行政対応への道を歩みだした年でもありました。

また、昨年の、我が国消防の動向は社会情勢の大きな変化の中において、規制緩和による「除物に関する法令の改正」、また職員の勤務時間の短縮など、具体的その行政対応への道を歩みだした年でもありました。

また、昨年の、我が国消防の動向は社会情勢の大きな変化の中において、規制緩和による「除物に関する法令の改正」、また職員の勤務時間の短縮など、具体的その行政対応への道を歩みだした年でもありました。

また、昨年の、我が国消防の動向は社会情勢の大きな変化の中において、規制緩和による「除物に関する法令の改正」、また職員の勤務時間の短縮など、具体的その行政対応への道を歩みだした年でもありました。

## 消防団員のための 消防互助年金

10年確定年金

10年保証終身年金

特別年金

年金は毎年3%  
複利で通増

年金開始前の死亡・解約一時金  
掛金払込中に死亡の場合は外に弔慰金

加入申込みは消防事務担当へ

消防団旗  
優勝旗・ゼッケン  
手拭・タオル・のれん  
旗幕類名入染物専門

寺田染工場

横手市清川町 32-0416





# 消防秋田

初代会長 松野 盛吉  
 定価 1部 5円 3-23  
 (購読料は年会費を含む)  
 秋田市中通4丁目3番地  
 秋田消防第二部  
 発行人 田代 俊二  
 電話 0188-32-3791  
 0188-34-2706  
 FAX 0188-34-2706  
 郵便番号 010-29  
 秋田山王丁7番5号  
 印刷 松原印刷株式会社  
 電話 0188-62-8720

## 平成六年度全国統一防火標語 “安心の暮らしの中心 火の用心”

### 平成六年度 防火ポスターの 入選作品決定

#### 小学生・中学生応募作品七九八点

少年少女の防火意識を高めるとともに県民の防火思想の普及向上をはかるため、秋田県と秋田県消防協会では、毎年、全県の小学校・中学校の児童、生徒から防火ポスターを募集してきました。

平成六年度における応募作品は、小学校の部においては三十二校から六九七

点、中学校の部においては九校から一〇一点、合計して七九八点の力作がよせられました。

この七九八点の応募作品について審査をいたしました結果、小学校の部においては秋田大学附属小学校一年眞宮 崇君、秋田大学附属小学校一年眞宮 崇君ほか五名の作品、中学校の部においては秋田市外旭川中学校二年熊谷初夏

さんほか五名の作品が入選しました。

また、佳作として小学校の部においては八名の作品、中学校の部においては十三名の方々の作品、合せて二十五名の作品が選ばれました。

このたびの応募作品の審査にあられた審査委員代表として聖園学園短期大学

助教授齋藤静夫先生から応募作品の総評および入賞作品評をいただいたので、入選作品の防火ポスターと併せて紹介します。

◎総評  
 小学校低学年  
 “防火ポスター”といふことを意識しすぎたためか、やや迫力に欠けた作品が多かったように感じました。また、佳作として小学校の部においては八名の作品、中学校の部においては十三名の方々の作品、合せて二十五名の作品が選ばれました。

色彩が全体的に豊富で、形もポスターとして整理されました。表現法もいろいろ工夫され、効果的の仕上げていて、ポスターの要件をしっかりと習った作品が目立ちました。

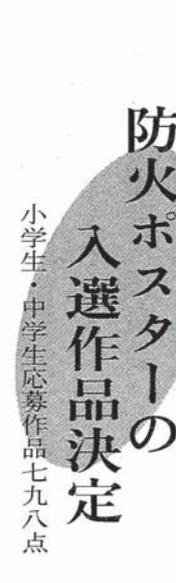
中学校  
 三年生の作品の応募の無

かったのは残念でしたがそれを補うように二年生に力作が揃いました。ポスターを描く姿勢ははっきりしていて、題材もいろいろ使いこなし、画面を上手に整理している点は中学生だけあって、描き手の訴えが見える人が多くありました。

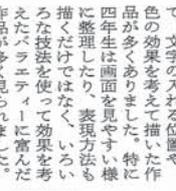
◎入賞作品評  
 (小学校の部)  
 秋田大学附属小学校  
 一年 眞宮 崇君  
 一年 眞宮 崇君  
 一年 眞宮 崇君  
 一年 眞宮 崇君  
 一年 眞宮 崇君

目と口を白くぬり残した点も印象を強調しています。欲を言うのと“火の用心”の文字をもう少し工夫して強くなつた方がいいと思います。横手市立黒川小学校  
 六年 佐藤 忠誠君  
 六年 佐藤 忠誠君  
 六年 佐藤 忠誠君  
 六年 佐藤 忠誠君  
 六年 佐藤 忠誠君

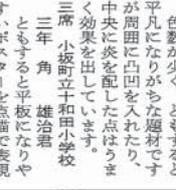
本荘市立本荘南中学校  
 二年 嶋盛 盛二君  
 二年 嶋盛 盛二君  
 二年 嶋盛 盛二君  
 二年 嶋盛 盛二君  
 二年 嶋盛 盛二君



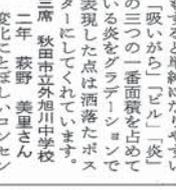
〈1席〉秋田大学附属小学校  
 1年 眞宮 崇君



〈2席〉能代市立淨城第三小学校  
 5年 水沢 佑希君



〈3席〉小坂町立十和田小学校  
 3年 角 雄治君



〈3席〉西目町立西目小学校  
 6年 佐藤 佑洋君



〈3席〉横手市立黒川小学校  
 6年 藤原 忠誠君

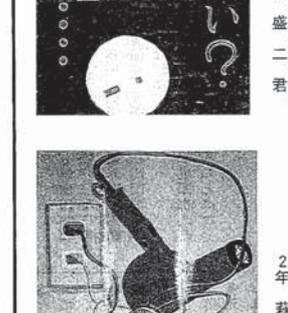
### 中学校の部



〈1席〉秋田市立外旭川中学校  
 2年 熊谷 初夏さん



〈2席〉大曲市立大曲中学校  
 2年 石山 かほりさん



〈2席〉本荘市立本荘南中学校  
 2年 嶋盛 盛二君



〈3席〉秋田市立外旭川中学校  
 2年 萩野 美里さん



〈3席〉大曲市立大曲中学校  
 2年 坂本 巧君

### 小学校の部



〈1席〉秋田大学附属小学校  
 1年 眞宮 崇君



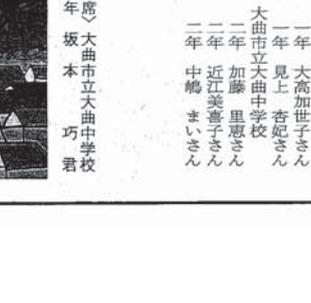
〈2席〉能代市立淨城第三小学校  
 5年 水沢 佑希君



〈3席〉小坂町立十和田小学校  
 3年 角 雄治君



〈3席〉西目町立西目小学校  
 6年 佐藤 佑洋君



〈3席〉横手市立黒川小学校  
 6年 藤原 忠誠君

秋田大学附属小学校  
 一年 眞宮 崇君  
 一年 眞宮 崇君  
 一年 眞宮 崇君  
 一年 眞宮 崇君  
 一年 眞宮 崇君

能代市立淨城第三小学校  
 五年 水沢 佑希君  
 五年 水沢 佑希君  
 五年 水沢 佑希君  
 五年 水沢 佑希君  
 五年 水沢 佑希君

小坂町立十和田小学校  
 三年 角 雄治君  
 三年 角 雄治君  
 三年 角 雄治君  
 三年 角 雄治君  
 三年 角 雄治君

西目町立西目小学校  
 六年 佐藤 佑洋君  
 六年 佐藤 佑洋君  
 六年 佐藤 佑洋君  
 六年 佐藤 佑洋君  
 六年 佐藤 佑洋君

横手市立黒川小学校  
 六年 藤原 忠誠君  
 六年 藤原 忠誠君  
 六年 藤原 忠誠君  
 六年 藤原 忠誠君  
 六年 藤原 忠誠君

大曲市立大曲中学校  
 二年 坂本 巧君  
 二年 坂本 巧君  
 二年 坂本 巧君  
 二年 坂本 巧君  
 二年 坂本 巧君

本荘市立本荘南中学校  
 二年 嶋盛 盛二君  
 二年 嶋盛 盛二君  
 二年 嶋盛 盛二君  
 二年 嶋盛 盛二君  
 二年 嶋盛 盛二君

秋田市立外旭川中学校  
 二年 萩野 美里さん  
 二年 萩野 美里さん  
 二年 萩野 美里さん  
 二年 萩野 美里さん  
 二年 萩野 美里さん

# 「安心の暮らしの中心 火の用心」 平成七年春の火災予防運動

4/2/4/8

空気が乾燥し、火災が発生しやすい気候となる時季を迎えるに当って、県では平成七年春の火災予防運動実施要綱を次のとおり定め、火災予防思想の一層の普及を図り、火災の発生防止と死傷事故や財産の損失防止に努めることとしてい

## 平成七年度春の火災予防運動実施要綱

実施期間  
平成七年四月二日(日)～平成七年四月八日(土)まで

### 運動の重点

- (1) 住宅防火対策の推進
- (2) 物品販売店舗、旅館、ホテル等不特定多数の者が出入りする防火対策の徹底
- (3) 社会福祉施設、病院等自力避難が困難な者が多数入所している施設における防火安全対策の徹底
- (4) 工場、倉庫及び宿舎等における防火安全対策の徹底
- (5) 地域における防火安全

体制の充実  
(6) 乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進

### 推進事項

1. 家庭では、
  - 寝たきりまたは、一人暮らしの高齢者、身体不自由者など住宅火災から人命を守りましよう。
  - 天ぷら油による出火防止及び初期消火方法を話し合いましよう。
  - 火災の早期発見、初期消火のため家庭用の消防設備を備えましよう。
2. 職場では、
  - 防火基準適合マーク(適マーク)の確認を
  - 防火管理者を選任し、消防計画に基づき消防訓練や避難訓練を実施しましよう。
3. 地域では、
  - 防火に関する講習会や、防火の正しい知識を身につけましよう。
  - 幼年、少年消防クラブ、婦人防火クラブを育成しましよう。
  - 火災を防ぐため、地域による自主防火話し合いをましよう。
  - 出火または延焼拡大の防止のため、防災物品や防災製品を使用しましよう。
  - 寝たきりまたは、一人暮らしの高齢者、身体不自由者等の地域ぐるみの避難協力体制を確立しましよう。
  - 乾燥時及び強風時の火災取扱いの注意を徹底しましよう。

## 日本消防協会代議員会

### 大規模非常災害対策 に関し緊急に特別決議

日本消防協会は、去る二月十日東京都港区虎ノ門二丁目日本消防会館五階大会議室において代議員を開会し、平成七年度補正予算と平成七年度事業計画及び予

## 消防職員意見発表 秋田県大会

### 最優秀賞

男鹿地区消防本部  
通信指令室  
宇佐美 誠  
消防副士長



消防職員意見発表秋田県大会は、二月二十三日、秋田市弥高会館において開催され、各消防本部から選ばれた一〇人の消防職員からそれぞれ発表があり、審査の結果、最優秀賞に男鹿地区消防本部、消防副士長宇佐美誠君、優秀賞に秋田市消防本部、消防士藤原宏紀君の両君が選ばれた。

## 「心のケア」

宇佐美 誠

救急救命士制度が発足して、マスコミでも、その活躍が盛んに報じられていて、私も一日も早く、高度な知識と技術の習得を、と焦りだして感じた時のこと。それは、寒さの厳しい二月の朝の事でした。指令台より、「車の転落事故発生、生存者がいる模様、尚、救助工作車も同時出場」との救急指令。現着して海を見

大規模非常災害対策に関する緊急特別決議  
日本消防協会代議員会、都道府県消防協会長の総意に基づき、大規模非常災害対策に関し、次のとおり緊急に決議する。

益々力が入る。「頑張れ、もう少しだ！」と、ようやく車内に収容された時は、凍り付いた様な寒さと疲労で、全身の感覚が無くなっていました。ところが、警官官との状況確認の中で、私は思わぬ事実を知らされたのです。実は、この青年は、家族から捜索願いが出されておられ、借金苦による自殺らしいと言われているのです。患者への直接的な処置が、物理的治療であるなら、「心のケア」は、精神的治療なのです。患者の気持ちになり、その容態や不安を親身になって聞き、励ます事で、患者や家族との信頼関係を生み、よりスムーズな救急医療につながることになると信じます。高度な技術の習得ばかりが目に見えるけれど、その原点である「心のケア」を、決して見失ってはならないと思っております。

消防育英会へ寄附  
本荘市の佐々木さんに感謝状

旗ヶケン  
団のれん  
・ゼッ  
・タオル  
・類名入染物  
・半旗  
・優勝  
・拭幕  
・手旗

寺田染工場  
横手市清川町 電話32-0416

この度、財団法人消防育英会(会長 笹川良一)から、消防育英事業に深い理解を寄せられ多額の寄附をされた本荘市赤田の本荘市役所職員佐々木弘吉(ひろよし)さんに感謝状が贈られ、三月二日秋田県議会議堂において、秋田県消防協会長から手渡された。

この寄附は、佐々木さんの父親佐々木金次郎氏が、昭和三十四年から三十五年もの永きに渡って消防団員として活躍され、平成五年のための教育訓練施設を整備

1 月の火災発生件数(全県)

区	分	建物	その他	死者	り世	災害
1	月	18	1	3		21
累(1)	計A	18	1	3		21
前(1)	計B	23	2	1		27
前(1)	対比	△5	△1	2		△6